

鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等） 工事

図 面 リ ス ト

図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
M - 1	表紙・図面リスト	NO SCALE
特 - 1	機械設備工事特記仕様書（１）	NO SCALE
特 - 2	機械設備工事特記仕様書（２）	NO SCALE
M - 2	配置図・案内図	S=1／1000
M - 3	機器表（改修後・改修前）	NO SCALE
M - 4	外構図1（改修後）	S=1／200
M - 5	外構図2（改修後）	S=1／200
M - 6	外構図3（改修後）	S=1／200
M - 7	外構図4（改修後）	S=1／200
M - 8	外構図5（改修後）	S=1／200
M - 9	外構図1（改修前）	S=1／200
M - 10	外構図2（改修前）	S=1／200
M - 11	外構図3（改修前）	S=1／200
M - 12	外構図4（改修前）	S=1／200
M - 13	外構図5（改修前）	S=1／200
M - 14	排水処理施設（西） 平面図	S=1／50
M - 15	排水処理施設（西） 断面図・開口平面図	S=1／50
M - 16	排水処理施設（東） 平面図	S=1／50
M - 17	排水処理施設（東） 断面図・開口平面図	S=1／50
M - 18	脱水焼却棟解体図	S=1／100
M - 19	廃水処理施設機械室（東地区・西地区）解体図	S=1／100
M - 20	参考図	S=1／30

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校					図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	表紙・図面リスト	-	株式会社 ミューバートナ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9842 FAX 052-684-9846 一級建築士 第 242551 号 植田 亮	事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	M-01

鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所 三重県鈴鹿市白子町（鈴鹿工業高等専門学校構内）

2. 完成期限 令和 3 年 3 月 18 日（木 曜日）

3. 建物概要

建 物 名 称	脱水焼却炉棟	西機械室	東機械室	電子情報工学科棟	専攻科棟	青峰寮	
工 種	とりこわし	とりこわし	とりこわし	改修	改修	改修	
構 造	S	R	R	R	R	R	
階 数	1	1	1	4	4	5	
建築基準法による	建築面積（㎡）	50	25	20	917	306	457
	延べ面積（㎡）	50	25	20	3360	1204	2210
消防法施行令別表第一の区分							
改 修 面 積 （ ㎡ ）							
備 考							

4. 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外	工 事 種 別			
工 事 種 目				
○空調設備				
○換気設備				
○排煙設備				
○自動制御設備				
○衛生器具設備				
●給水設備				
●排水設備				
○給湯設備				
○消火設備				
○ガス設備				
○雨水利用設備				
●撤去工事				

5. 指定部分 ○無 ○有 対象部分（指定部分工期 年 月 日）

6. 概成工期 ○無 ●有 令和 3 年 2 月 25 日（木 曜日）
（第1編1.1.2）[第1編1.1.2]

7. 設備概要（●印の付いたものを適用する）

方式及び種別	設 備 概 要	
空調方式	○	○
主要熱源機器	○	○
自動制御方式	○電気式 ○電子式 ○デジタル式	
給水方式	●高置タンク方式 ●加圧ポンプ方式 ●直圧式	
排水方式	建物内の汚水と雑排水（●合流式 ○分流式） ポンプ排水 ○有（○汚物 ○雑排水 ○湧水） ○無 排水槽 ○有（計画容量 m3） ○無 建物外放流先 （1）汚 水 ●直放流下水管 （2）雑排水●直放流下水管	
消火設備の種類	○屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連結散水設備 ○連結送水管 不活性ガス消火設備 ○（ ）	
ガスの種類	○都市ガス（種別、高位発熱量、低位発熱量供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名） ○液化石油ガス	

※改修の場合は既存概要を示す

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

（1）独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、図面 20 枚及び本特記仕様書 2 枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
○ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）（以下「標準仕様書」という。）
○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
○ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成31年版）（以下「標準図」という。）
○ 文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（平成31年版）（以下「文科仕様書」という。）
○ 文部科学省機械設備工事標準図（特記基準）（平成31年版）（以下「文科標準図」という。）
○ 工事写真撮影要領（令和元年7月）

（2）建築工事及び電気設備仕事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、建築工事の特記仕様書は（ ）図、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図による。

2. 特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。

2）項目に記載の（第 編 . . . ）内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。

3）項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。

4）項目に記載の＜第 編 . . . ＞内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

章

項 目

特 記 事 項

●一般共通事項

○適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○風圧力
風速（V0＝ m/s）
地表面粗度区分（ ）
○積雪荷重
建設省告示第1455号における区域 別表（ ）

●官公署その他への届出手続き等

（第1編1.1.3）
[第1編1.1.3]

○電気保安技術者

（第1編1.3.2）
[第1編1.3.2]

この工事現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安技術者
1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に關する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○
4. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○
5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○
6. 第1種電気工事士の資格を有する者	○
7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
8. 第2種電気工事士の資格を有する者	○ ※1
9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

●施工条件

（第1編1.3.3）
[第1編1.3.3]

●環境への配慮

（第1編1.4.1）
[第1編1.4.1]

（1）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

（3）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

●機材の品質等

（第1編1.4.2）
[第1編1.4.2]

○機材の検査等

機材の検査に伴う試験

（第1編1.4.5～6）
[第1編1.4.5～6]

○施工調査

[第1編1.5.1～3]

○技能士

（第1編1.5.2）
[第1編1.6.2]

○施工の検査等

検査に伴う試験・立会い等

（第1編1.5.4～6）
[第1編1.6.5～7]

○技術検査

（第1編1.6.2）
[第1編1.7.2]

●完成時の提出図書

（第1編1.7.1～5）
[第1編1.8.1～6]

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名 称	体 裁 等	部 数
● 完成図	製 本（提出方法 ア 参照）	1 部
● "	仮 製 本（A 1判2つ折）	2 部
● "	仮 製 本（A 3判2つ折）	4 部
● 保全指導書		2 部
● 機器完成図		2 部
● 各種試験成績書		2 部
● 官公署等届出書類（写）		2 部
● 機器設備台帳	指定書式： ○有 ○無	2 部
● 工事写真帳	●電子媒体 ●紙媒体（ファイル綴じ）	2 部
● 施工図	電子媒体により提出（提出方法 エ 参照）	1 部
C A Dデータ（●要 ○不要） 本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。 ●工事写真 ○完成写真 ●完成図		
貸与する設計図のC A Dデータ著作権者名：鈴鹿工業高等専門学校 ファイル形式：JWW 貸与条件：貸与するC A Dデータを本工事における施工図又は完成図の作成のために以外に使用しないこと。		
提出方法：ア、完成図製本はA 1図面ブテイル折り、黒表紙金文字入りとする。 イ、完成図仮製本は工事名等背文字入りとする。体裁は監督職員と協議。 ウ、上記※印は完成図製本（A 4判）と一緒に製本してよい。 エ、完成図（押印済）及び※印資料、施工図図面、設計図面を電子媒体（PDF形式）にて提出する。メディア等については、監督職員と協議。 オ、C A Dデータは完成図（JWW形式及びPDF）を提出する。		
図面に特記なき場合は、工事区分表による。		
換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。		
○5 0 H z ● 6 0 H z		
（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。		
○本工事 ○別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ○風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の温度の測定 ○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ○飲料水の水質の測定 ○雑用水の水質の測定		
○別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する 図参照） 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○内部足場（○種 ○種）○外部足場（○種 ○種）		

●他工事又は他工種との取り合い

○電動機

（第2編1.2.1）
[第2編1.2.1]

○電源周波数

○容量等の表示

○総合試運転調整

（第2編1.3.1～3）
[第2編1.3.1～3]

○足場その他

（第2編4.1.1）
[第1編2.1.1]

監督職員が行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機 材 名	検 査 試 験	備 考
	○ ○	
	○ ○	
	○ ○	

事前調査 ○本工事 ○別途
調査内容 ○既存資料調査
調査項目 ○図示 ○
調査範囲 ○図示 ○
調査方法 ○図示 ○

下記の職種及び作業に適用する。

施 工 部 分	検 査 立 会	試 験	備 考
	○ ○	○	
	○ ○	○	
	○ ○	○	

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名 称	体 裁 等	部 数
● 完成図	製 本（提出方法 ア 参照）	1 部
● "	仮 製 本（A 1判2つ折）	2 部
● "	仮 製 本（A 3判2つ折）	4 部
● 保全指導書		2 部
● 機器完成図		2 部
● 各種試験成績書		2 部
● 官公署等届出書類（写）		2 部
● 機器設備台帳	指定書式： ○有 ○無	2 部
● 工事写真帳	●電子媒体 ●紙媒体（ファイル綴じ）	2 部
● 施工図	電子媒体により提出（提出方法 エ 参照）	1 部
C A Dデータ（●要 ○不要） 本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。 ●工事写真 ○完成写真 ●完成図		
貸与する設計図のC A Dデータ著作権者名：鈴鹿工業高等専門学校 ファイル形式：JWW 貸与条件：貸与するC A Dデータを本工事における施工図又は完成図の作成のために以外に使用しないこと。		
提出方法：ア、完成図製本はA 1図面ブテイル折り、黒表紙金文字入りとする。 イ、完成図仮製本は工事名等背文字入りとする。体裁は監督職員と協議。 ウ、上記※印は完成図製本（A 4判）と一緒に製本してよい。 エ、完成図（押印済）及び※印資料、施工図図面、設計図面を電子媒体（PDF形式）にて提出する。メディア等については、監督職員と協議。 オ、C A Dデータは完成図（JWW形式及びPDF）を提出する。		
図面に特記なき場合は、工事区分表による。		
換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。		
○5 0 H z ● 6 0 H z		
（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。		
○本工事 ○別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ○風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の温度の測定 ○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ○飲料水の水質の測定 ○雑用水の水質の測定		
○別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する 図参照） 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○内部足場（○種 ○種）○外部足場（○種 ○種）		

●埋め戻し土・盛土
（第2編4.2.1）
[第2編7.1.1]

●建設発生土の処理方法
（第2編4.2.1）
[第2編7.1.1]

●耐震措置

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。
（1）機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数 _____ 及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度				
機器種別	●特定の施設		○一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器 2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器 2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	水槽類 2.0	1.5	1.5	1.0
	機器 1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器 1.5	1.5	1.5	1.0
地階・1階	水槽類 1.5	1.0	1.0	0.6
	機器 1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器 1.0	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないものの水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次による。
[名称：、記号：] [名称：、記号：]
[名称：、記号：] [名称：、記号：]
[名称：、記号：] [名称：、記号：]
[名称：、記号：] [名称：、記号：]
[名称：、記号：] [名称：、記号：]
（2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1／2とする。

○配管
（第2編第2章）
[第2編第2章]
＜第2編1.1.1＞
＜第2編2.1.1＞
●地中埋設標等
（第2編2.7.1～3）

●管の地中埋設深さ
（第2編2.7.2）
[第2編2.5.2]

○再生を行う場合の留意事項
[第2編2.2.11]

○絶縁継手
（第2編2.2.12）
[第2編2.2.1]

○試験
（第2編2.9.1～5）
[第2編2.7.1～5]

○保温
（第2編3.1.1～6）
[第2編3.1.1～3]

○塗装
（第2編3.2.1）
[第2編3.2.1]

●電線類
（第2編4.7.1）

○既存躯体への穿孔
[第2編5.2.1]

（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。
○呼び径6 0 S u以下（○S A S 3 2 2を満足した継手 ○）
（2）溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要（ ）

（1）地中埋設標 ●要（図示による） ○不要
（2）埋設表示テープ ●要（排水管を除く） ○不要

埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、
車両通行部分は（●6 0 0 mm ○ mm）
その他の部分は（●3 0 0 mm ○ mm）以上とする。

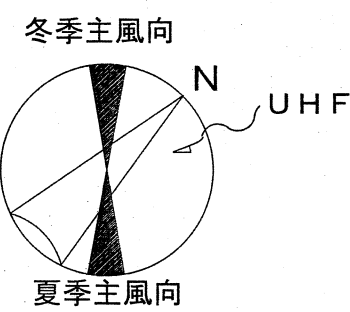
標準仕様書第2編によるほか次による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
○多湿箇所は下記による。
室名：
○共同構内の保温種別は下記による。
ダクト：
口径38.10mm以下の冷媒管は、冷媒用被覆断熱銅管を用いる場合は、保温材厚さは、液管で10mm以上、ガス管で20mm以上とする。ただし、液管に使用する口径9.52mm以下の配管については、保温材厚さを8mmとしてもよい。

次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。
○屋外：○ドレン管（○指定色塗装 ○）
○金属電線管（○溶融亜鉛めっき仕上げ[付着量300 g / m²以上] ○指定色塗装）
○屋内：○（○指定色塗装 ○）

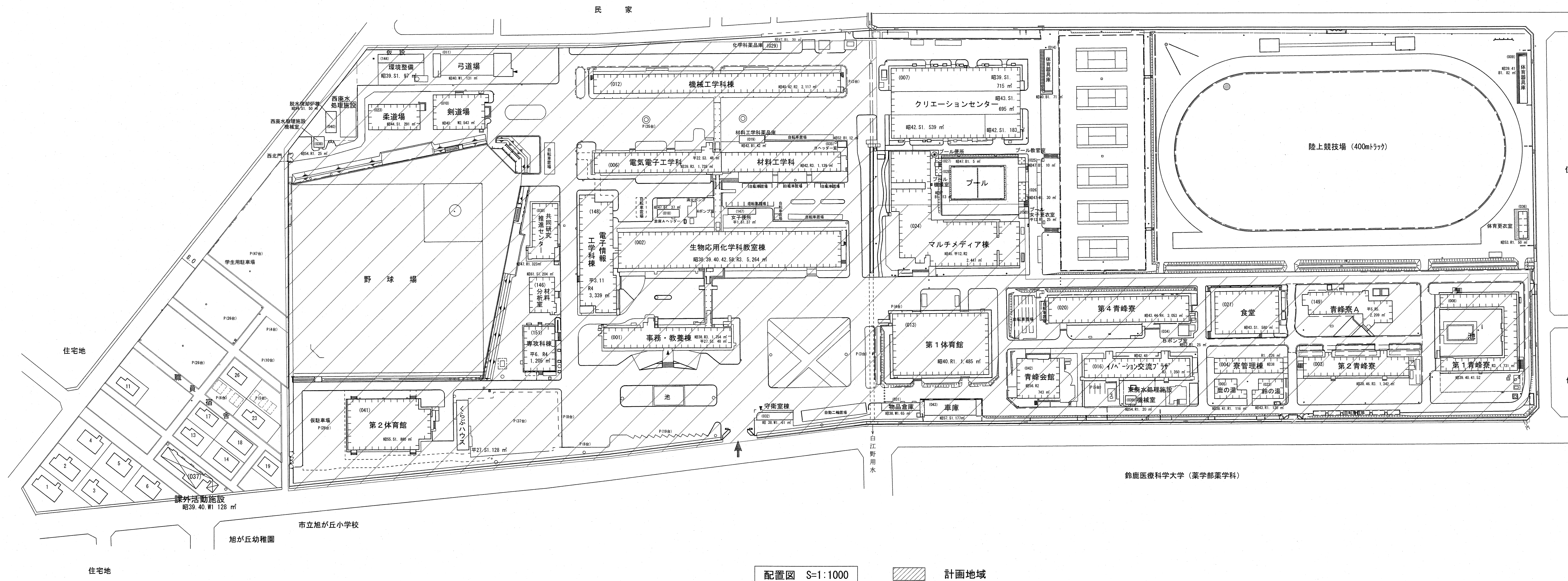
電線及びケーブルはエコマテリアル仕様とするとする。

穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。
○はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
○走査式埋設物調査 ○放射線透過検査

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	特記仕様書（1）	S=N・S(A1) S=N・S(A3)	株式会社 ミューバートナース 名古屋市熱田区新尾路3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9846 一級建築士 第242551号 植田一亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当	特-1



凡例（衛生）			
記 号	名 称		備 考
—— —	給 水 管	ビット内	ポリ粉体ライニング鋼管(JWWA K 132) PB
		屋外露出	ポリ粉体ライニング鋼管(JWWA K 132) PB
		屋外地中	ポリエチレン管(JWW 144) PE
—— —	排 水 管	屋外露出	硬質用塩化ビニル管(JIS K 6742) VU
		屋外地中	硬質用塩化ビニル管(JIS K 6742) VU
—○—○—	弁 類		
○	水 栓 類		
—+—+—	フレキシブルジョイント		
	アスファルト部を示す		
	コンクリート部を示す		
	土間部を示す		
	インターロッキング部を示す		
	L型側溝		L-300
★	壁貫通処理を示す		
☆	既設壁貫通箇所を示す		
●	地中埋設標示		コンクリート、アスファルト舗装部
■	地中埋設標示		非舗装部

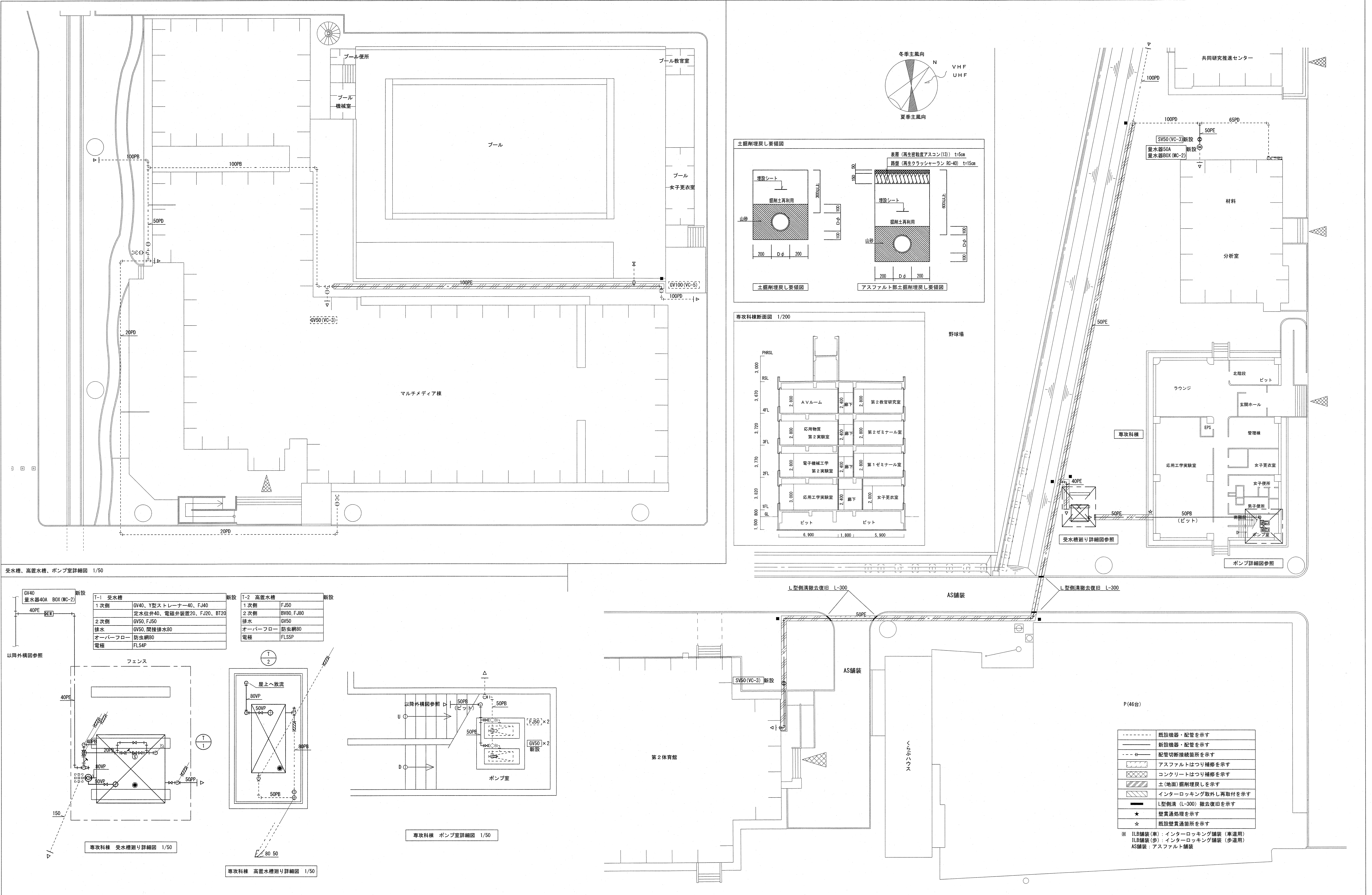


年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	配置図・案内図	S=1/1000 (A1) S=1/2000 (A3)	株式会社 ミューパートナース 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 橋田一亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当     	M-02

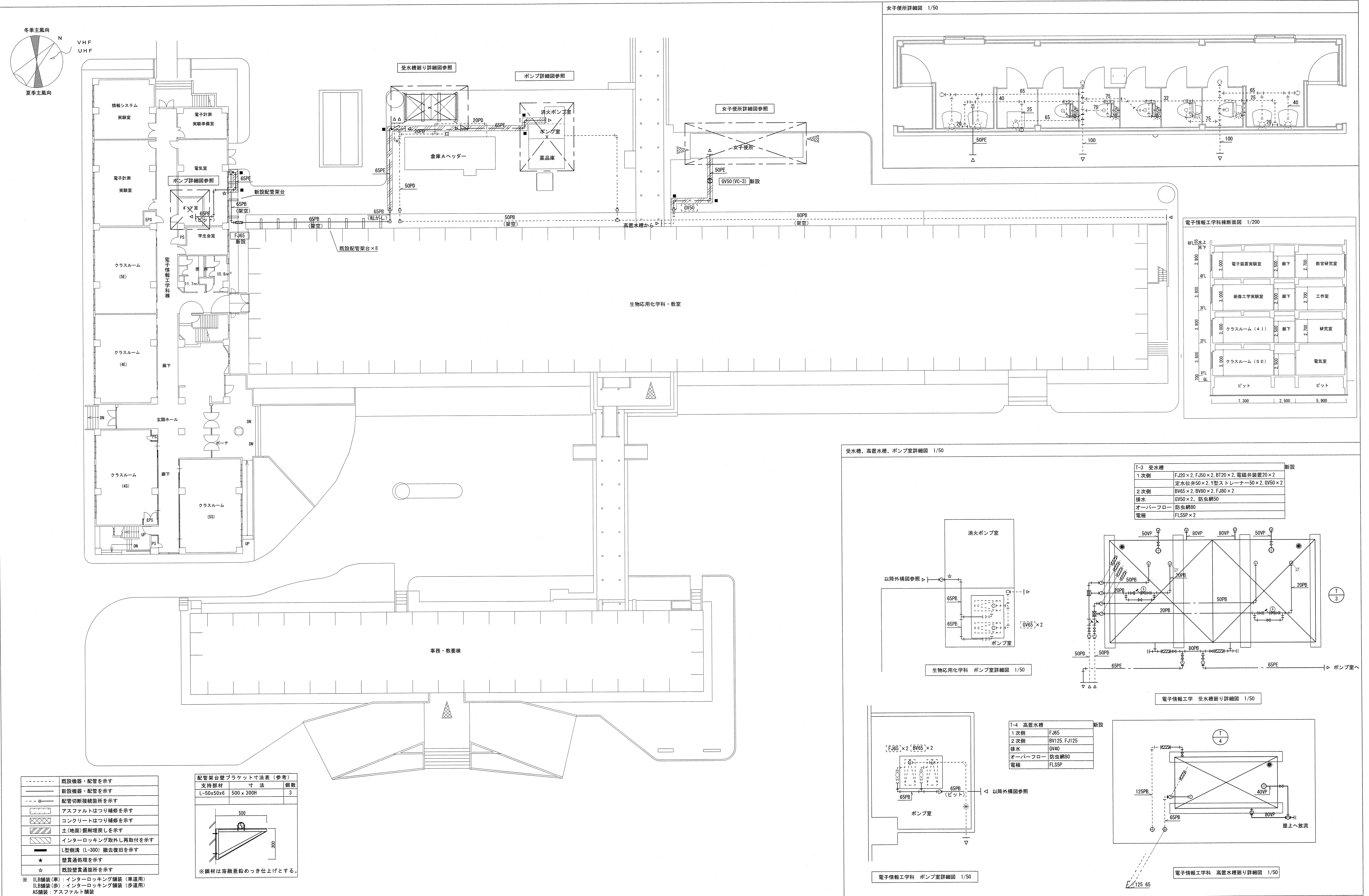
衛生機器一覧表 (改修後)					
記 号	名 称	仕 様	台数	設置場所	備考
T-1	受水槽	型式：ステンレス製パネルタンク 材質：気相部 SUS329J4L 液相部 SUS444 気相内ボルトはキャップ付 寸法：2,000×2,000×2,000H 容量：8.0m ³ (有効容量：5.6m ³) 設計震度：1.5G 付属品：マンホール600φ (鍵付二重蓋)、水栓取付用タッピング、鍵付マンホール、SUS製内梯子、SUS製外梯子 (背かご付)、通気口 電極棒4P (防波・電極保護カバー付)、ボルト・ナット類ステンレス製 (気相部ボルトはキャップ付) 平架台150H (溶融亜鉛メッキ仕上)、他標準付属品一式共	1	屋外 (専攻科棟)	新設
T-2	高架水槽	型式：ステンレス製パネルタンク 材質：気相部 SUS329J4L 液相部 SUS444 気相内ボルトはキャップ付 寸法：2,000×1,000×1,000H 容量：2.0m ³ (有効容量：1.4m ³) 設計震度：2.0G 付属品：マンホール600φ (鍵付二重蓋)、鍵付マンホール、SUS製内梯子、SUS製外梯子 (背かご付)、通気口 電極棒5P (防波・電極保護カバー付)、ボルト・ナット類ステンレス製 (気相部ボルトはキャップ付) 平架台150H (溶融亜鉛メッキ仕上)、他標準付属品一式共	1	屋上 (専攻科棟)	新設
T-3	受水槽	型式：ステンレス製パネルタンク (2槽式) 材質：気相部 SUS329J4L 液相部 SUS444 気相内ボルトはキャップ付 寸法：(3,000×3,000)×3,000×2,500H 容量：45.0m ³ (有効容量：40.0m ³) 設計震度：1.5G 付属品：マンホール600φ (鍵付二重蓋) ×2、水栓取付用タッピング×2、鍵付マンホール SUS製内梯子×2、SUS製外梯子 (背かご付) ×2、通気口×2、電極棒4P (防波・電極保護カバー付) ×2、 ボルト・ナット類ステンレス製 (気相部ボルトはキャップ付)、平架台150H (溶融亜鉛メッキ仕上)、他標準付属品一式共	1	屋外 (電子情報工学科棟)	新設
T-4	高架水槽	型式：ステンレス製パネルタンク 材質：気相部 SUS329J4L 液相部 SUS444 気相内ボルトはキャップ付 寸法：3,000×1,500×1,500H 容量：6.75m ³ (有効容量：5.0m ³) 設計震度：2.0G 付属品：マンホール600φ (鍵付二重蓋)、鍵付マンホール、SUS製内梯子、SUS製外梯子 (背かご付)、通気口 電極棒5P (防波・電極保護カバー付)、ボルト・ナット類ステンレス製 (気相部ボルトはキャップ付) 平架台150H (溶融亜鉛メッキ仕上)、他標準付属品一式共	1	屋上 (電子情報工学科棟)	新設
T-5	受水槽	型式：ステンレス製パネルタンク (2槽式) 材質：気相部 SUS329J4L 液相部 SUS444 気相内ボルトはキャップ付 寸法：(2,500×2,500)×2,500×3,000H 容量：37.5m ³ (有効容量：33.0m ³) 設計震度：1.5G 付属品：マンホール600φ (鍵付二重蓋) ×2、水栓取付用タッピング×2、鍵付マンホール SUS製内梯子×2、SUS製外梯子 (背かご付) ×2、通気口×2、電極棒4P (防波・電極保護カバー付) ×2、 ボルト・ナット類ステンレス製 (気相部ボルトはキャップ付)、平架台150H (溶融亜鉛メッキ仕上)、他標準付属品一式共	1	屋外 (第4青峰寮)	新設
T-6	高架水槽	型式：ステンレス製パネルタンク 材質：気相部 SUS329J4L 液相部 SUS444 気相内ボルトはキャップ付 寸法：1,500×3,000×1,500H 容量：6.75m ³ (有効容量：4.9m ³) 設計震度：2.0G 付属品：マンホール600φ (鍵付二重蓋)、鍵付マンホール、SUS製内梯子、SUS製外梯子 (背かご付)、通気口 電極棒5P (防波・電極保護カバー付)、ボルト・ナット類ステンレス製 (気相部ボルトはキャップ付) 平架台150H (溶融亜鉛メッキ仕上)、他標準付属品一式共	1	屋上 (第4青峰寮)	新設
T-7	受水槽	型式：ステンレス製パネルタンク 材質：気相部 SUS329J4L 液相部 SUS444 気相内ボルトはキャップ付 寸法：3,000×3,000×2,500H 容量：22.5m ³ (有効容量：20.0m ³) 付属品：マンホール600φ (鍵付二重蓋)、水栓取付用タッピング、鍵付マンホール、SUS製内梯子、SUS製外梯子 (背かご付)、通気口 電極棒4P (防波・電極保護カバー付)、ボルト・ナット類ステンレス製 (気相部ボルトはキャップ付) 平架台150H (溶融亜鉛メッキ仕上)、他標準付属品一式共	1	屋外 (青峰寮A)	新設

[illegible]

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	機器表（改修後・改修前）	S=N・S(A1) S=N・S(A3)	株式会社 ミューバートテクノス 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9846 一級建築士 第242551号 堀田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	M-03

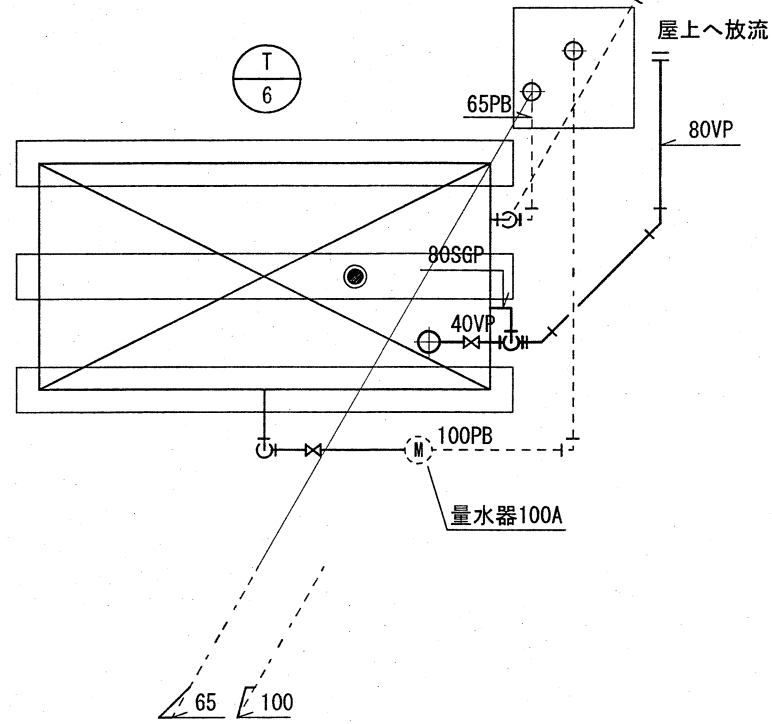


年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	外構図1（改修後）	S=1/200 1/50(A1) S=1/400 1/100(A3)	株式会社 ミューバートナース 名古屋市中区新尾道3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当 事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当	M-04



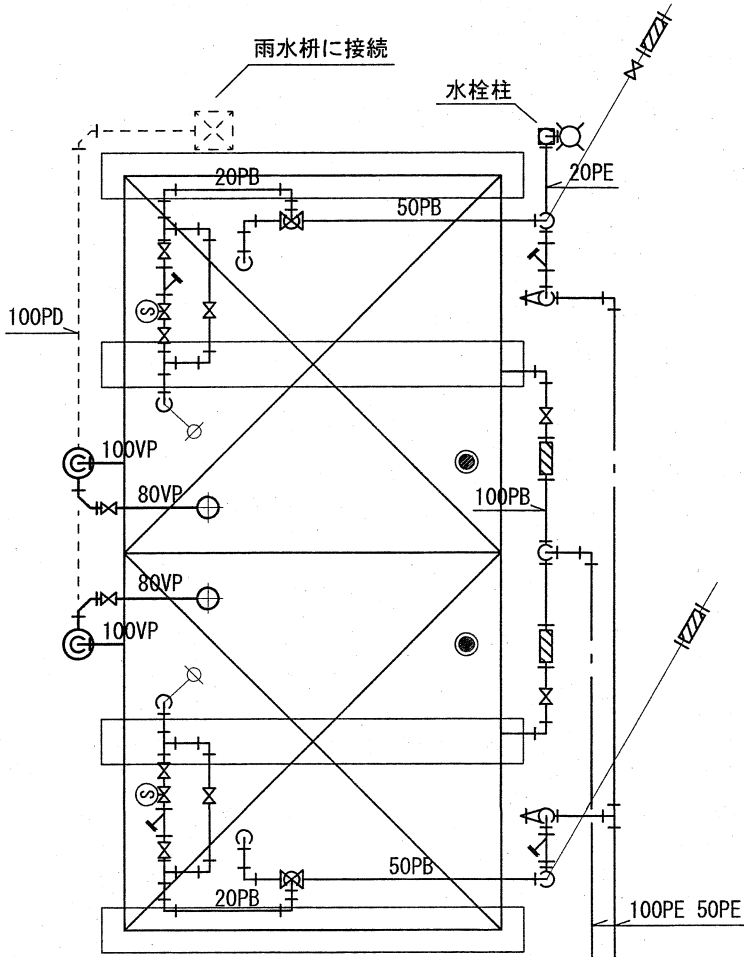
年 度	設 計 年 月	設 計 業 務 名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建 築 士 法 第 20 条 第 1 項 に 基 づ く 表 示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	外構図2（改修後）	S=1/200 1/50 (A1) S=1/400 1/100 (A3)	株式会社 ミューバートナース 名古屋市中区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9846 FAX 052-684-9846 一級建築士 第 242551 号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	M-05

T-6 高置水槽	新設
1次側	FJ65
2次側	BV100
排水	GV40, 間接排水80
オーバーフロー	防虫網100
電機	FLSP



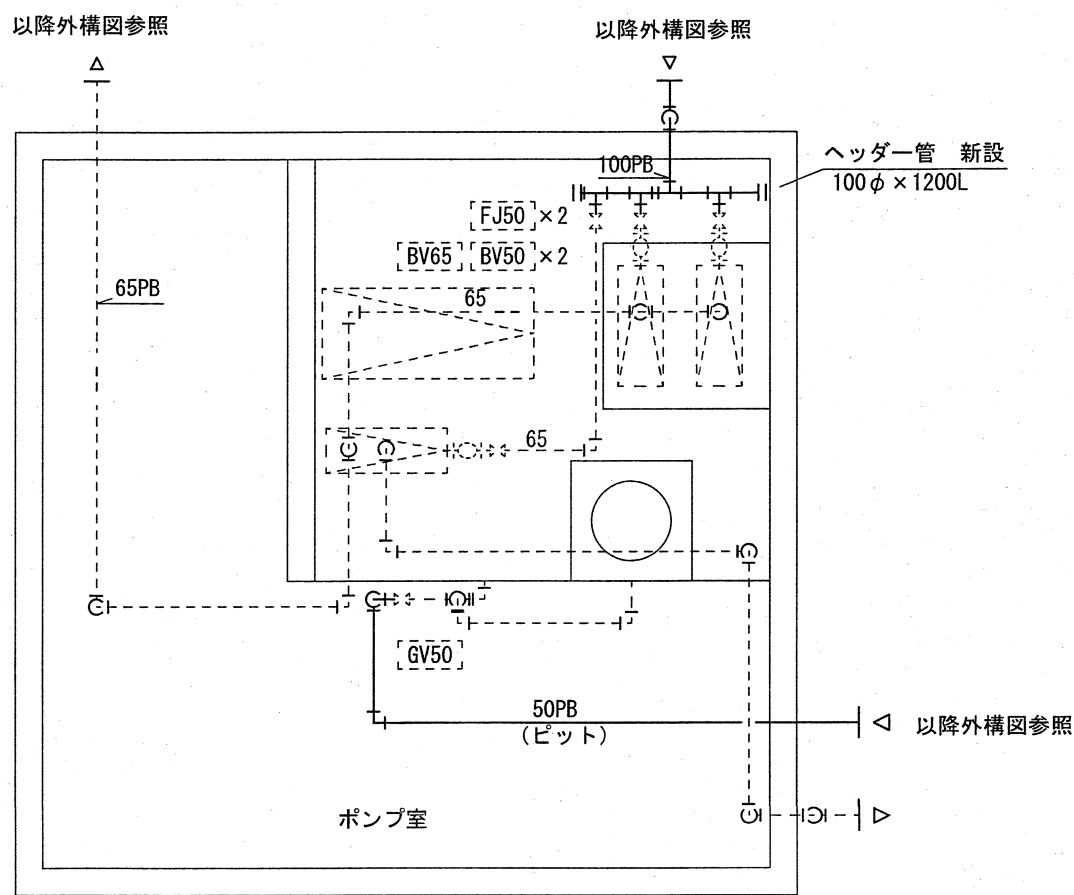
第4青峰寮 高置水槽廻り詳細図 1/50

T-5



第4青峰寮 受水槽廻り詳細図 1/50

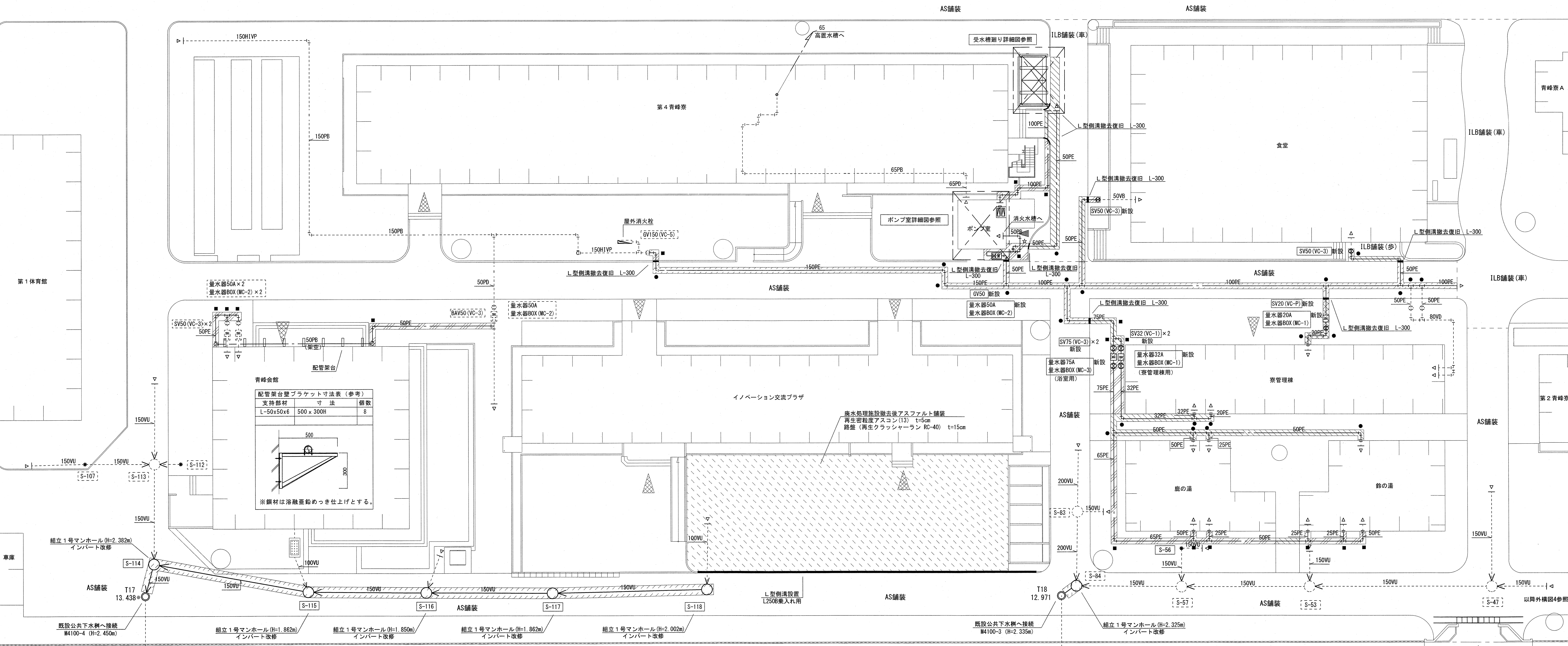
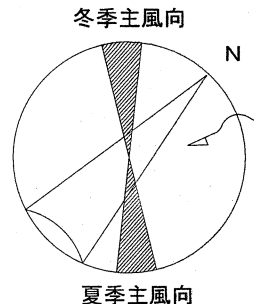
T-5 受水槽	新設
1次側	電磁弁装置20×2, FJ50×2, BT20×2, BV50×3
2次側	Y型ストレーナー50×2, 定水位弁50×2
排水	BV100×2, FJ100×2
オーバーフロー	BV80×2, 間接排水100×2
電機	防虫網100×2, FLS4P×2



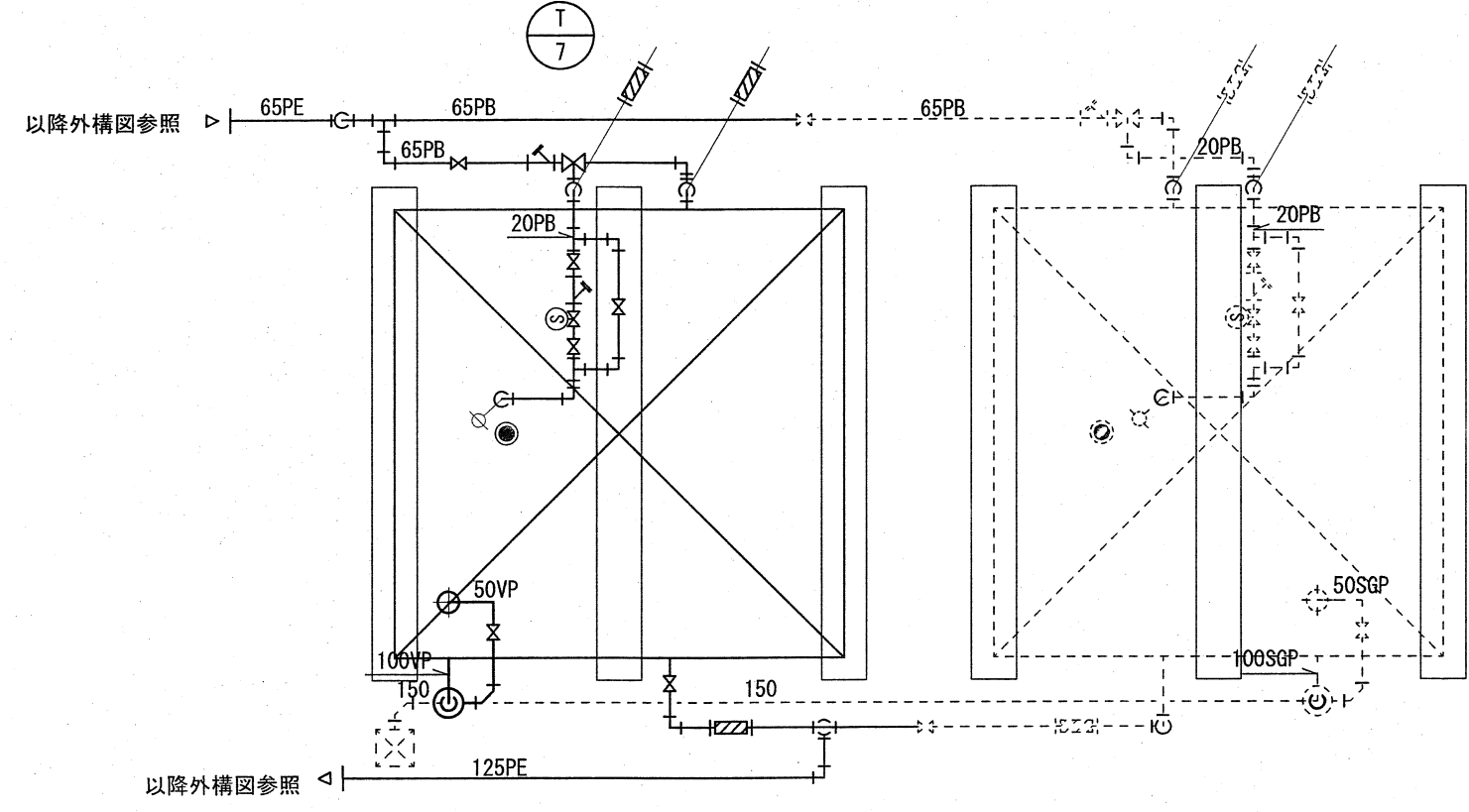
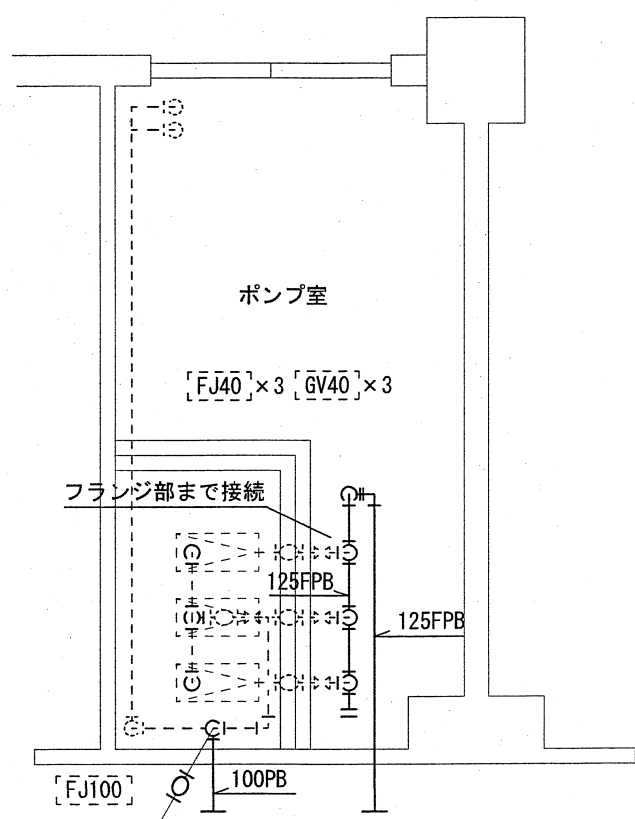
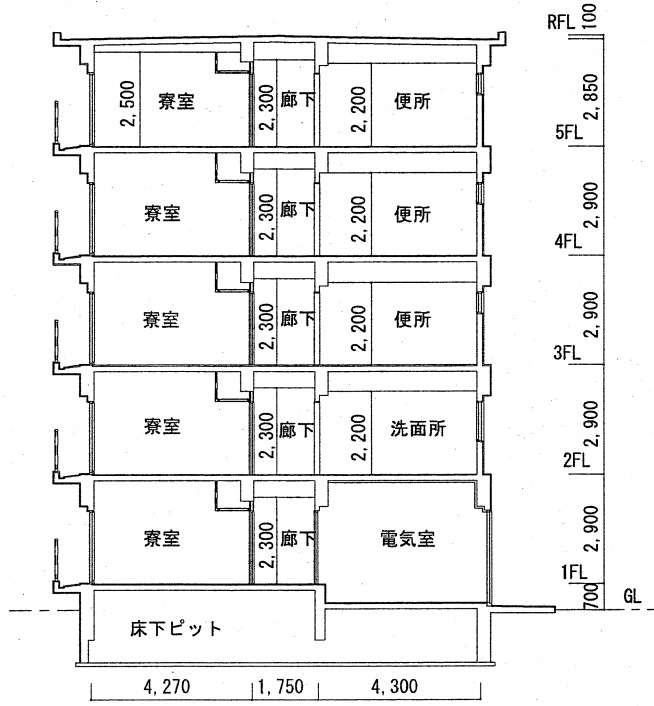
第4青峰寮 ポンプ室詳細図 1/50

既設機器・配管を示す	
新設機器・配管を示す	
配管切断接続面を示す	
アスファルトはつり補修を示す	
コンクリートはつり補修を示す	
土(地面)掘削埋戻しを示す	
インターロッキング取外し再取付を示す	
L型側溝 (L-300) 撤去復旧を示す	
壁貫通処理を示す	
既設壁貫通箇所を示す	

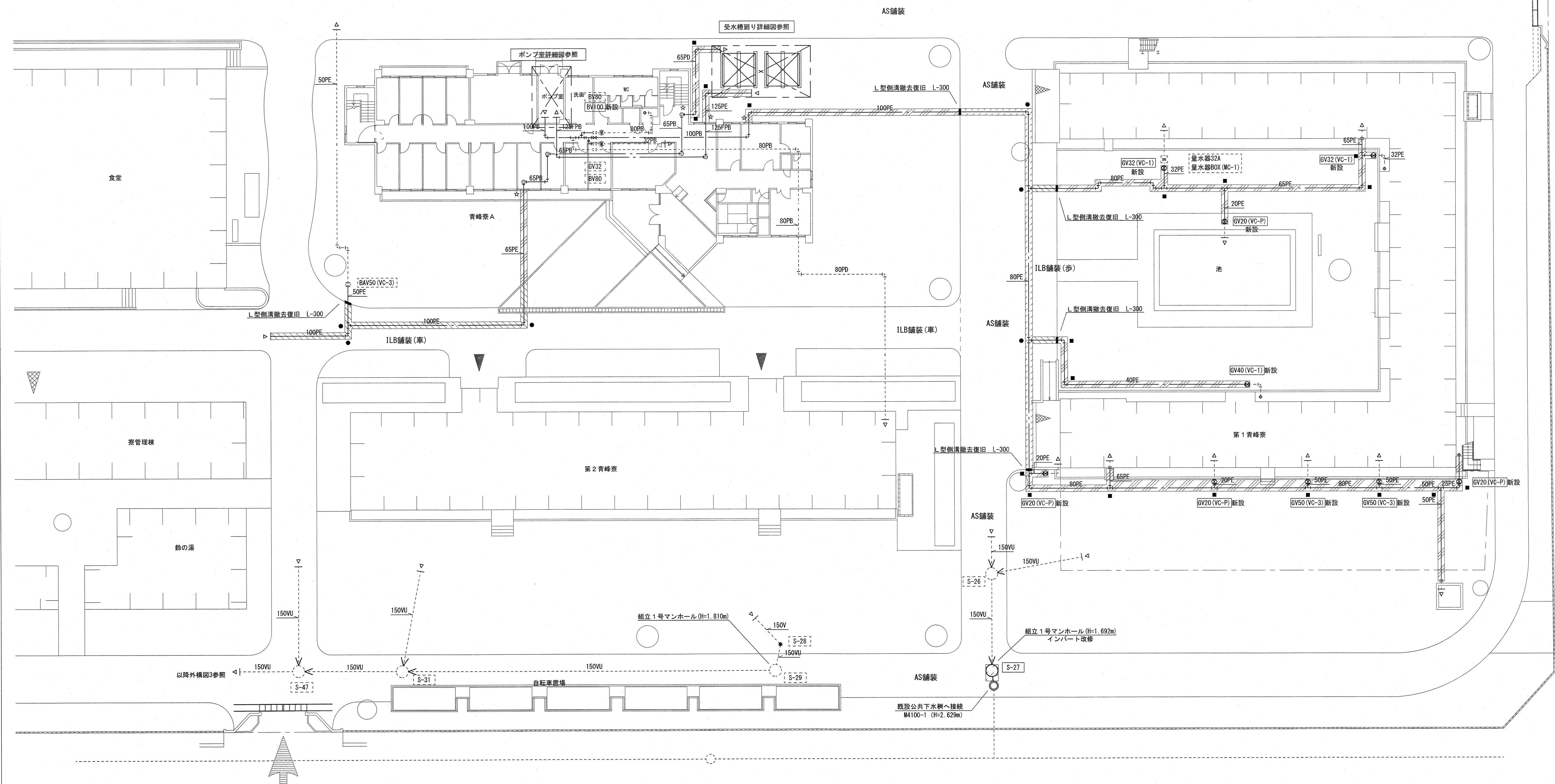
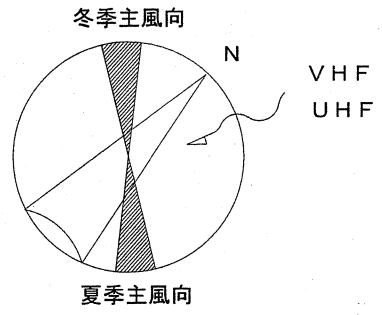
※ ILB舗装(車)：インターロッキング舗装(車適用)
ILB舗装(歩)：インターロッキング舗装(歩適用)
AS舗装：アスファルト舗装



年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	外構図3（改修後）	S=1/200 1/50(A1) S=1/400 1/100(A3)	株式会社 ミューバート 名古屋市中区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9846 一級建築士 第242551号 植田一光	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当 鈴鹿工業高等専門学校	M-06



1-7 受水槽	新設
1次側	FJ20, 電磁弁装置20, BT20
	BV65, FJ65, 定水位弁65, Y型ストレーナー65
2次側	BV125, FJ125
排水	GV50, 間接排水100
オーバーフロー	防虫網100
電機	FL55P



既設機器・配管を示す

新設機器・配管を示す

配管切断接続面を示す

アスファルトはつり補修を示す

コンクリートはつり補修を示す

土(地面)掘削埋戻しを示す

インターロッキング取外し再取付を示す

L型側溝 (L-300) 撤去復旧を示す

★

壁貫通処理を示す

☆

既設壁貫通箇所を示す

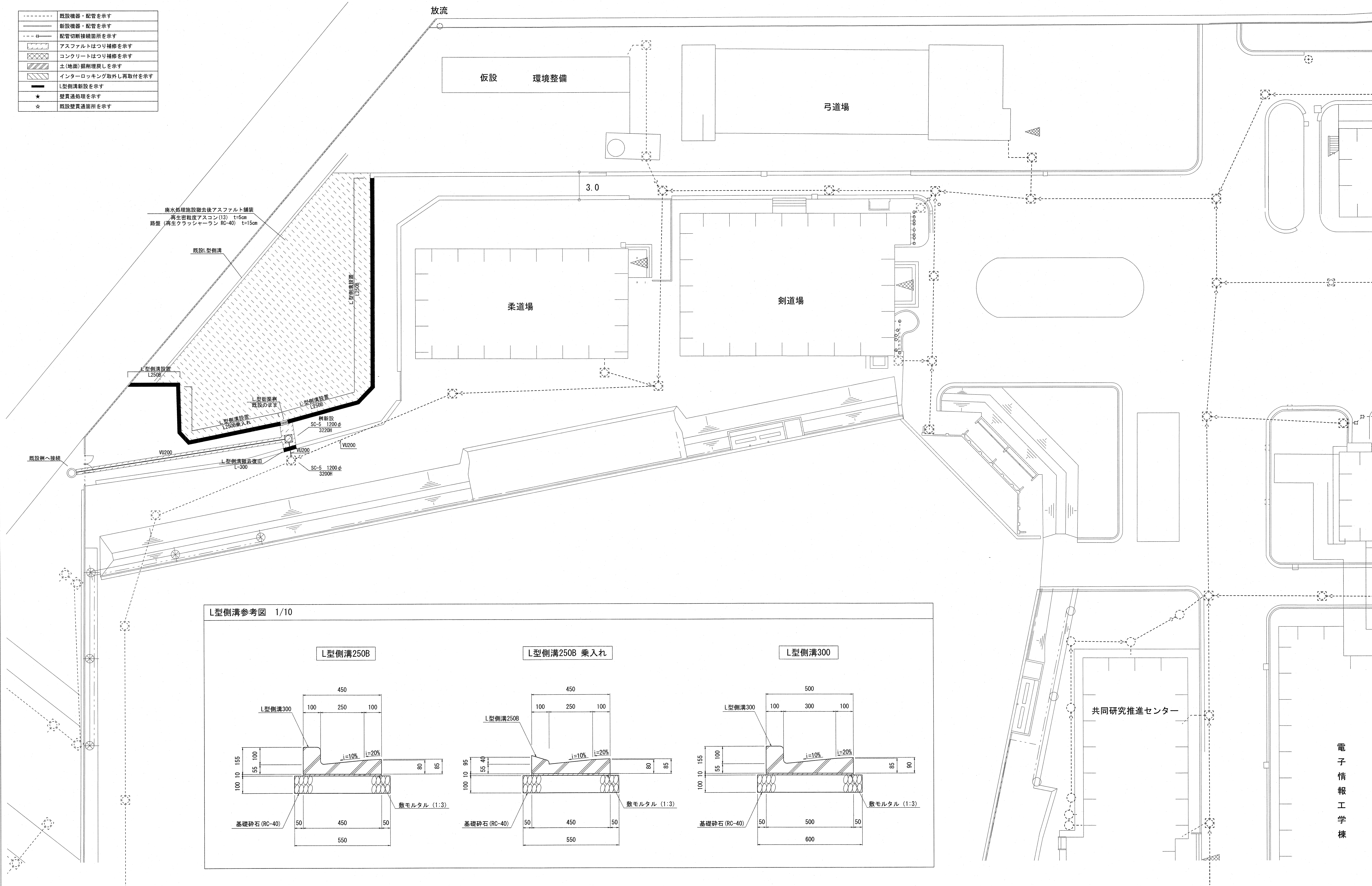
※ ILB舗装(車)：インターロッキング舗装(車道用)

ILB舗装(歩)：インターロッキング舗装(歩道用)

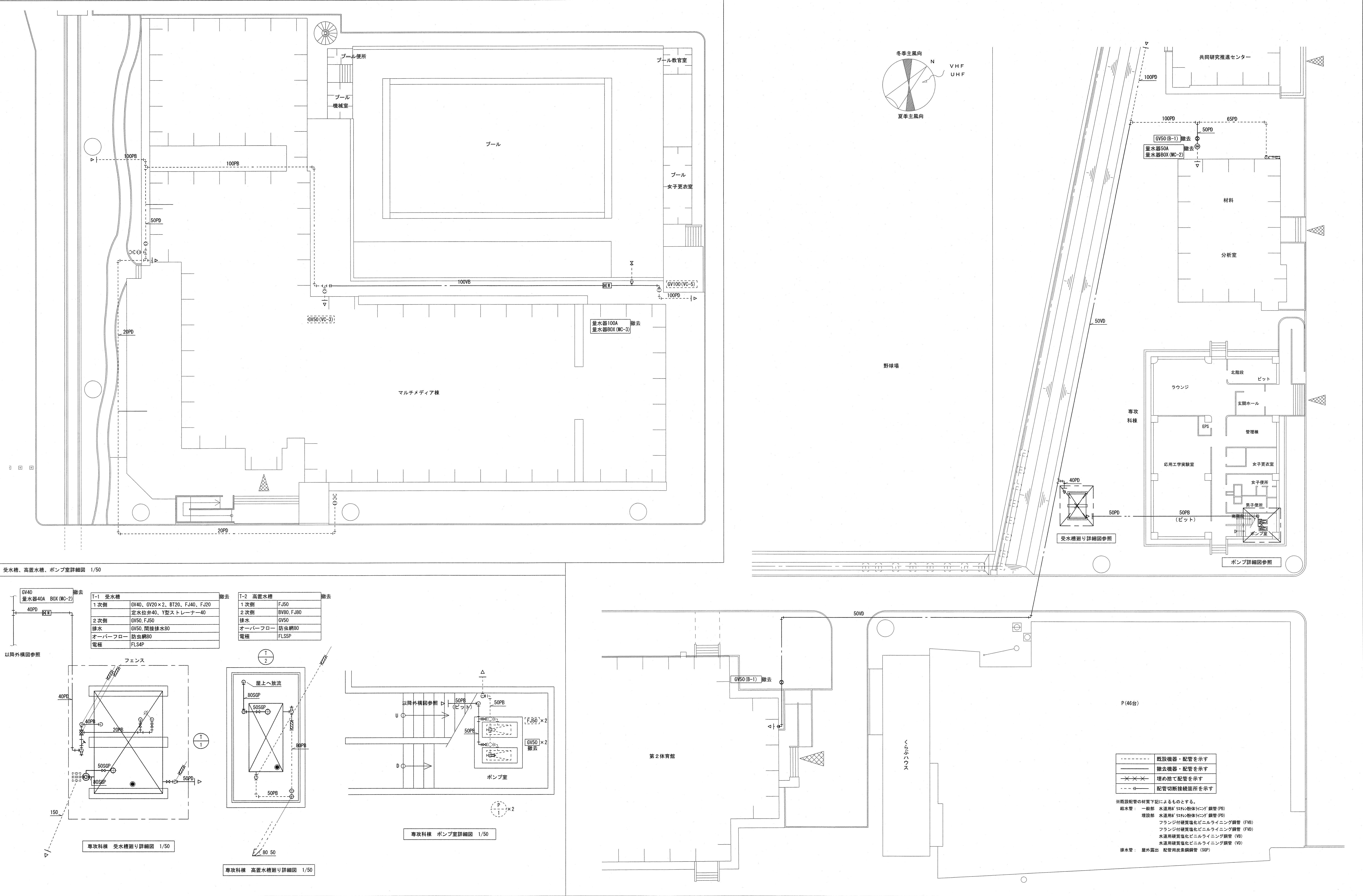
AS舗装：アスファルト舗装

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	外構図4（改修後）	S=1/200 1/50(A1) S=1/400 1/100(A3)	株式会社 ミューバートナース 名古屋市中村区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 一級建築士 第242551号 植田一亮 FAX 052-684-9845	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当	M-07

-----	既設機器・配管を示す
-----	新設機器・配管を示す
-----	配管切断接続面を示す
-----	アスファルトはつり補修を示す
-----	コンクリートはつり補修を示す
-----	土(地面)掘削埋戻しを示す
-----	インターロッキング取外し再取付を示す
-----	L型側溝新設を示す
★	壁貫通処理を示す
☆	既設壁貫通面を示す

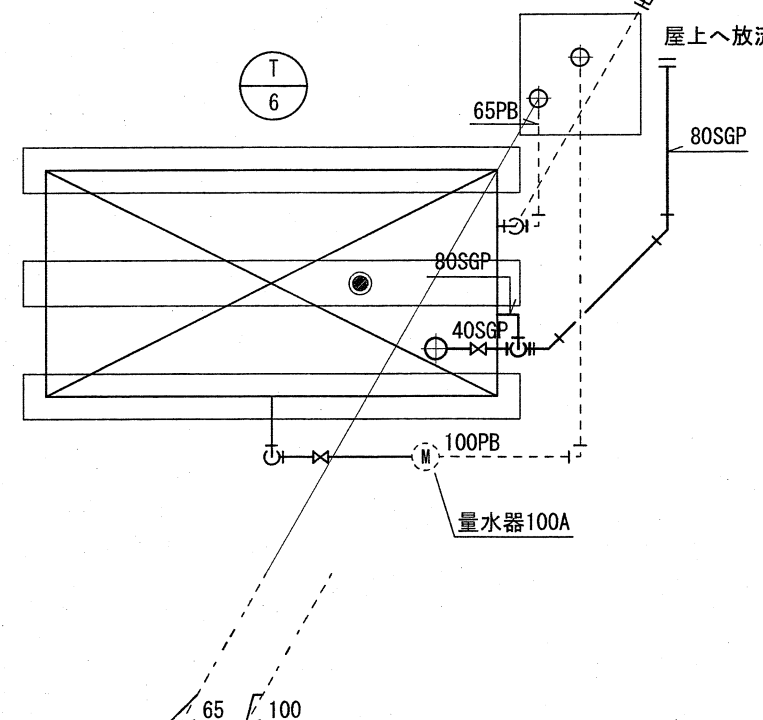


年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	外構図5（改修後）	S=1/200 (A1) S=1/400 (A3)	株式会社 ミューパートナーズ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9846 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当 	M-08



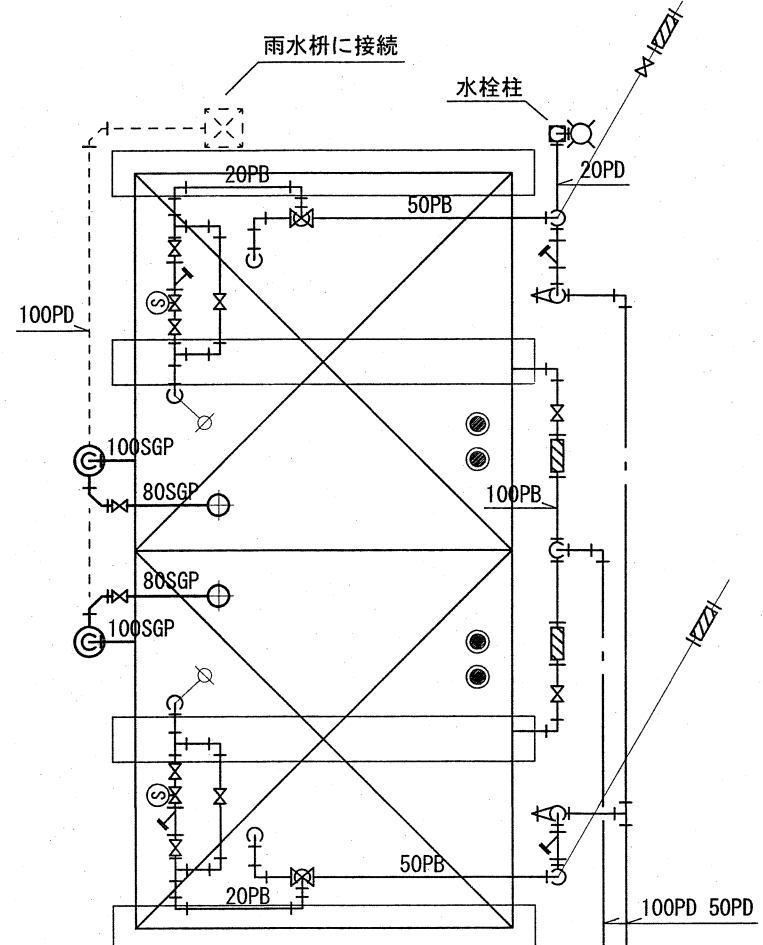
年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校					図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	外構図1（改修前）	S=1/200 1/50 (A1) S=1/400 1/100 (A3)	株式会社 ミューバート 名古屋市中村区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	M-09

T-6 高置水槽 撤去	
1次側	FJ65
2次側	BV100
排水	GV40、間接排水80
オーバーフロー	防虫網100
電極	FLSSP



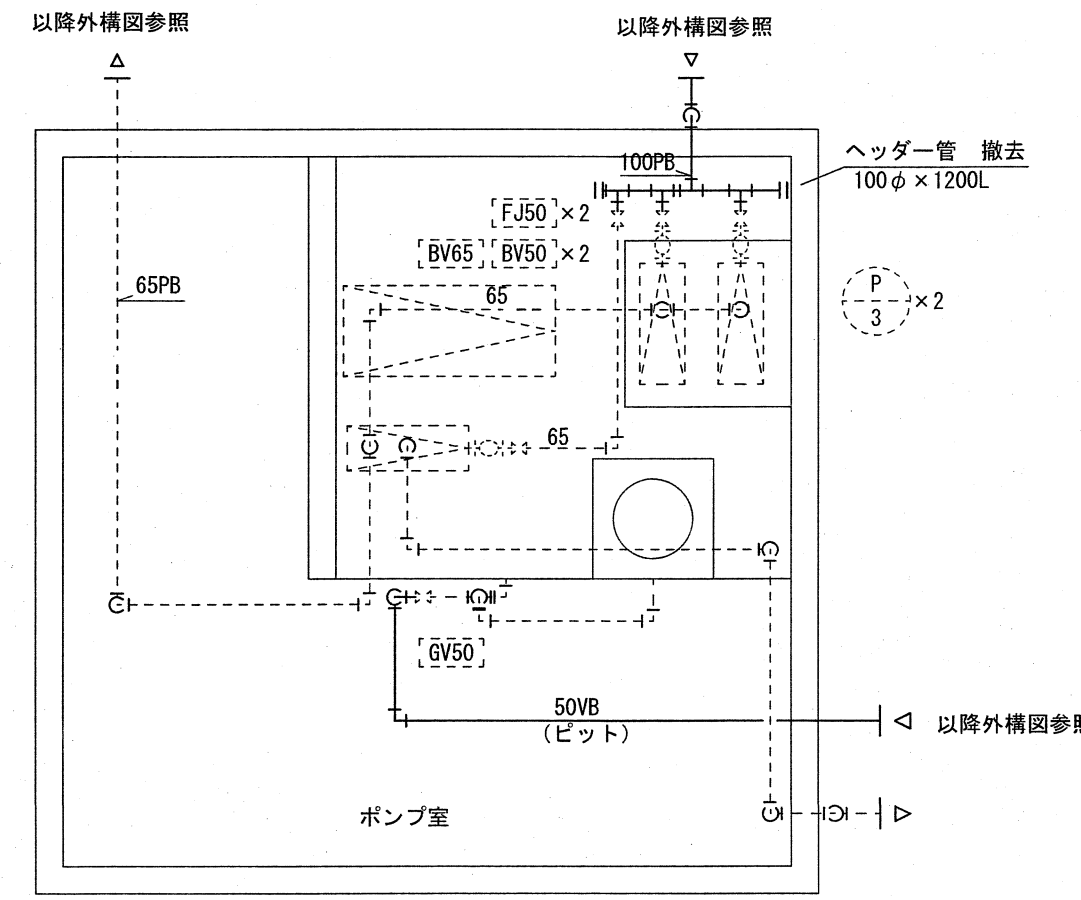
第4青峰寮 高置水槽廻り詳細図 1/50

T 5



第4青峰寮 受水槽廻り詳細図 1/50

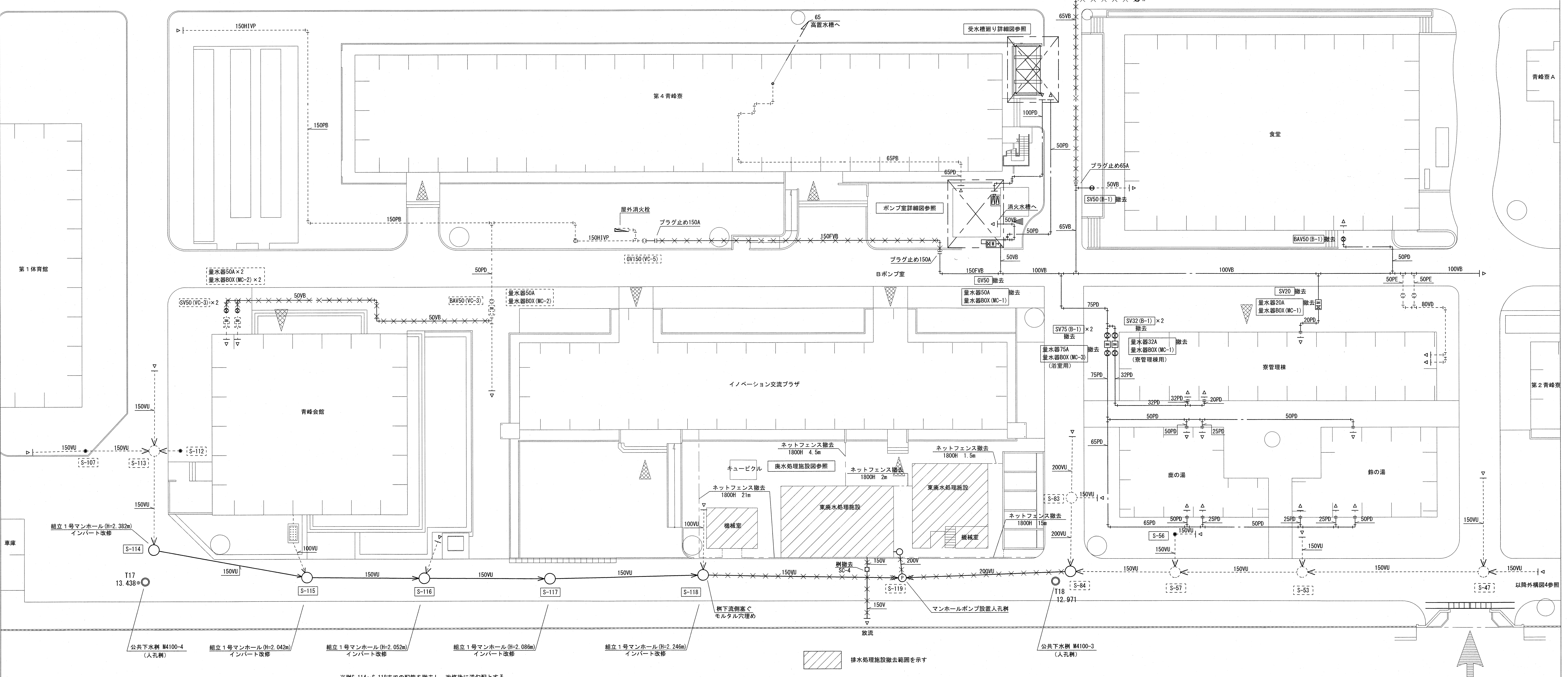
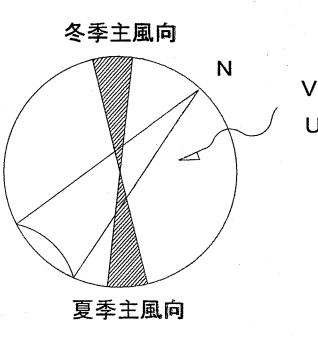
T-5 受水槽 撤去	
1次側	電磁弁装置20×2, FJ50×2, GV50×2
2次側	Y型ストレーナー50×2, 定水位弁50×2
排水	BV100×2, FJ100×2
オーバーフロー	防虫網100×2
電極	FLSAP×2, FLS3P×2



第4青峰寮 ポンプ室詳細図 1/50

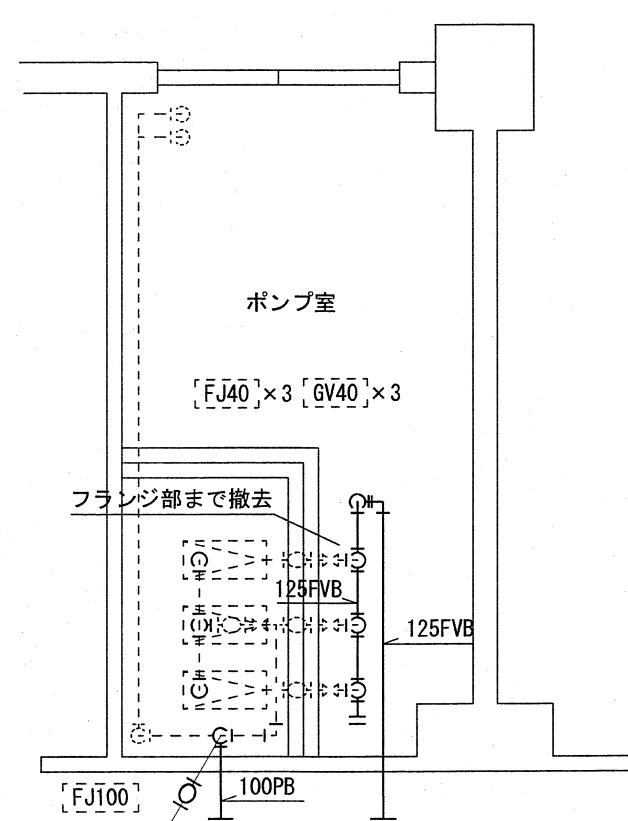
--- 既設機器・配管を示す
--- 撤去機器・配管を示す
--- 埋め捨て配管を示す
--- 配管切断接続箇所を示す

※既設配管の材質下記によるものとする。
給水管：一般部 水道用鉄「JIS55」粉体「C」鋼管 (PB)
埋設部 水道用鉄「JIS55」粉体「C」鋼管 (PB)
排水：フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 (FVB)
フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 (FVB)
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VVB)
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VVB)
排水：屋外露出 配管用炭素鋼管 (SSP)

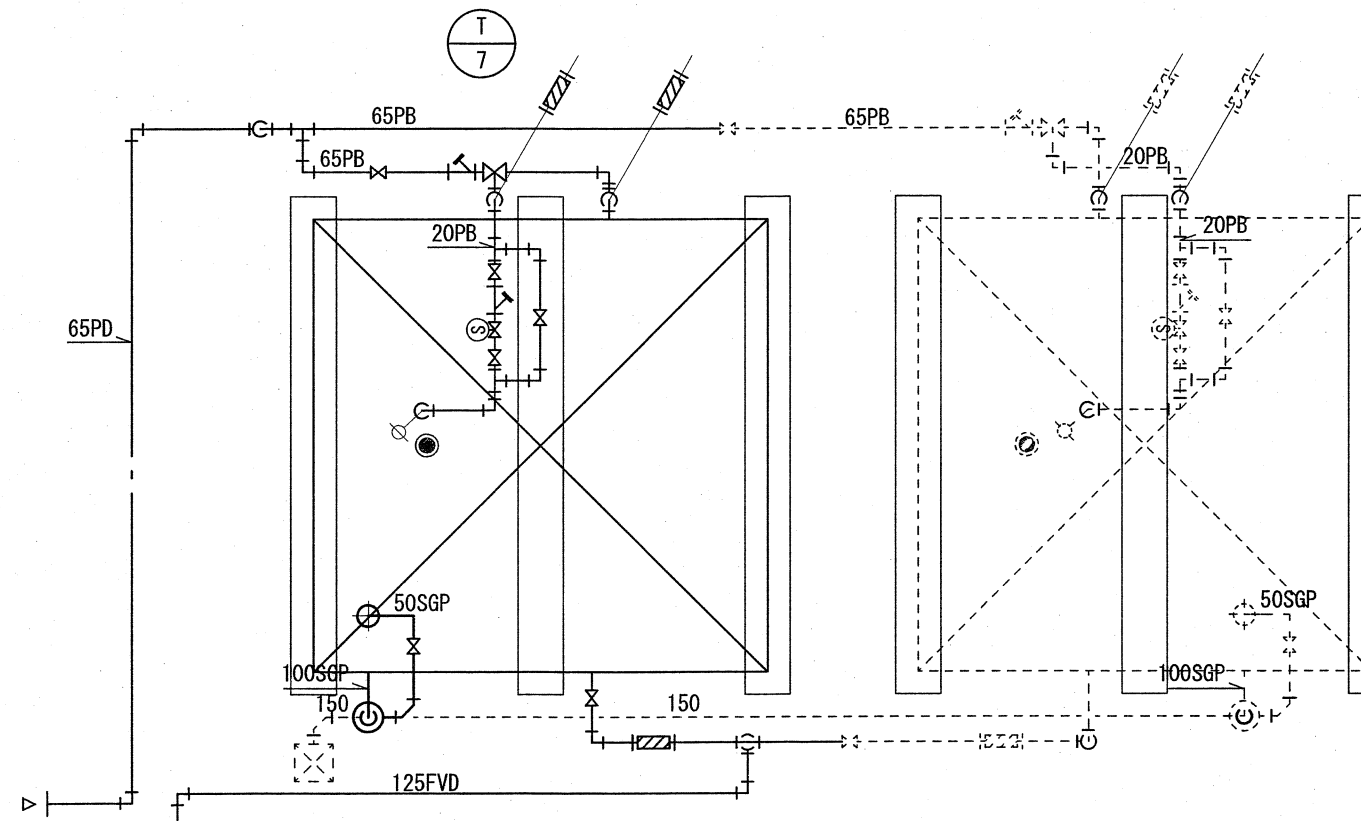


※樹S-114～S-118までの配管を撤去し、改修後に逆勾配とする。

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	外構図3（改修前）	S=1/200 1/50 (A1) S=1/400 1/100 (A3)	株式会社 ミューバートナース 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当 事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当	M-11



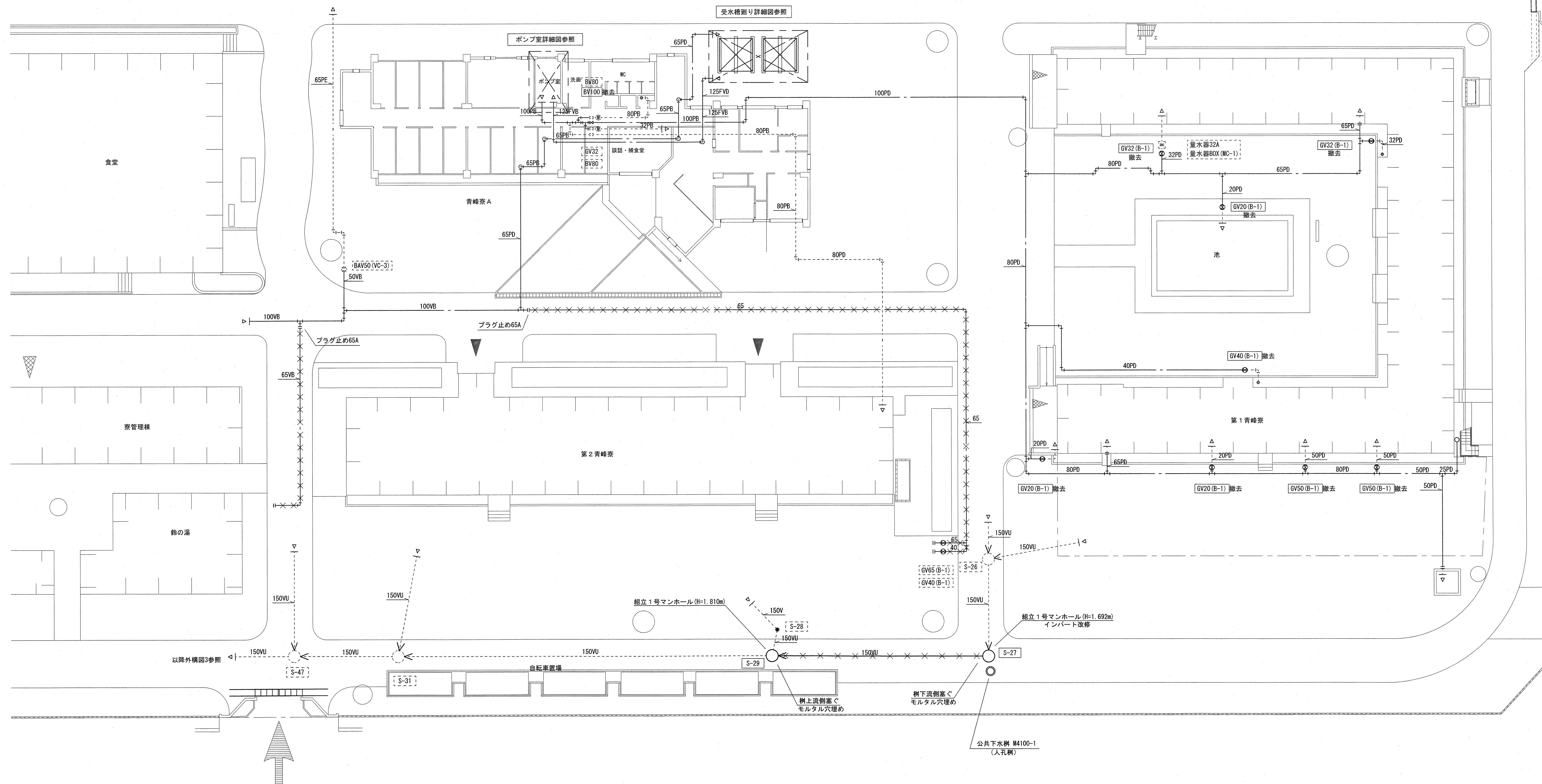
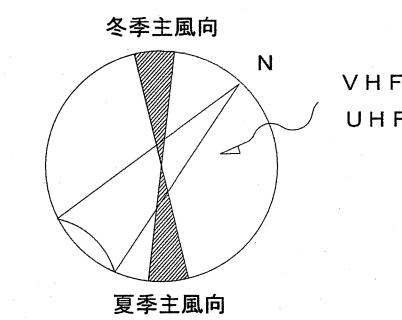
青峰寮A ポンプ室詳細図 1/50



青峰寮A 受水槽廻り詳細図 1/50

以降外構図参照

T-7 受水槽		撤去
1次側	FJ20, 電磁弁装置20	
	BV65, FJ65, 定水栓弁65, Y型ストレーナー65	
2次側	BF125, FJ125	
排水	GV50, 間接排水100	
オーバーフロー	防虫網100	
電極	FLS5P	

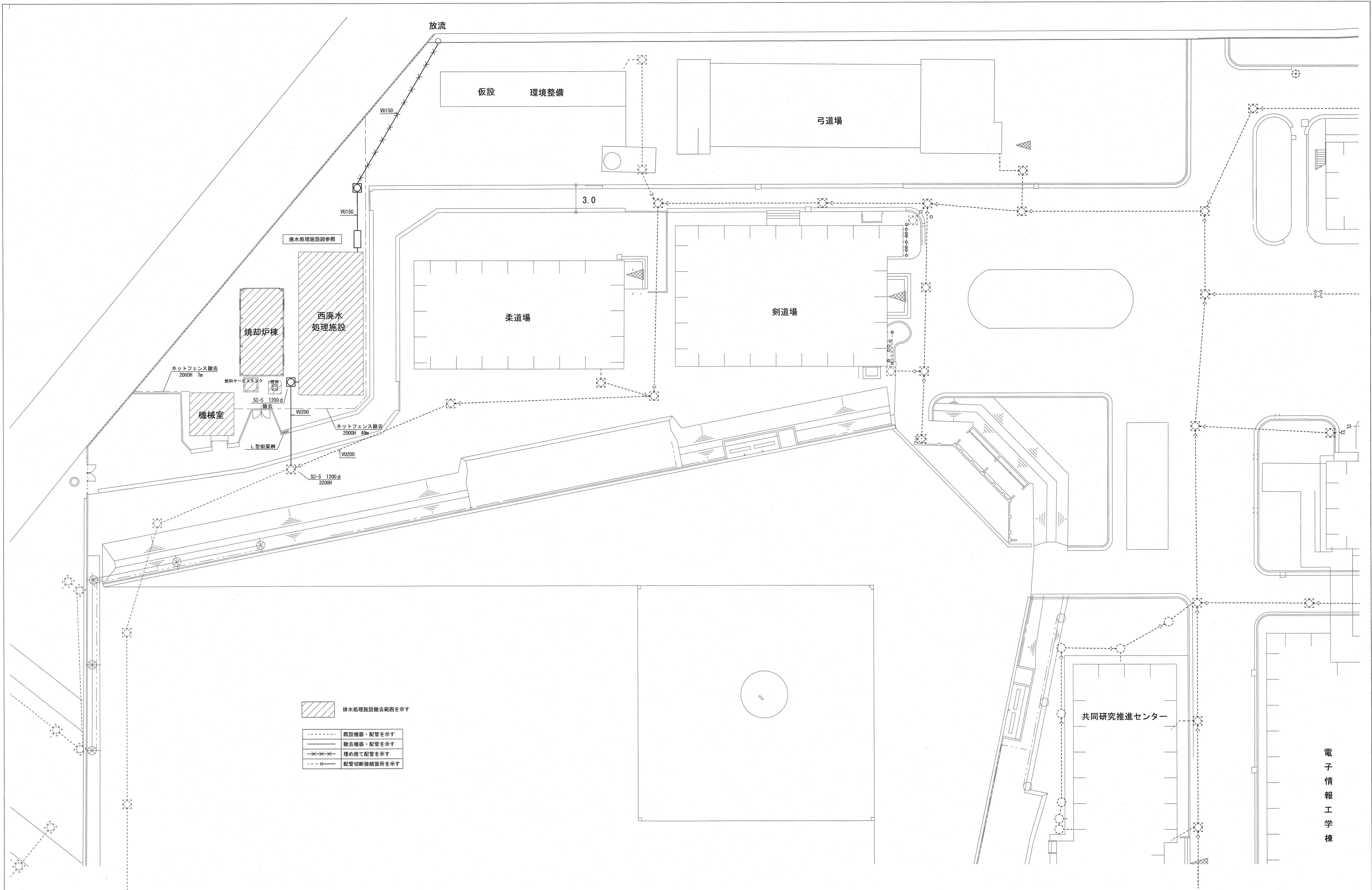


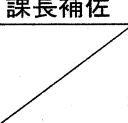
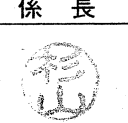
-----	既設機器・配管を示す
————	撤去機器・配管を示す
—×—×—×—	埋め捨て配管を示す
--- ㄣ ———	配管切断接続箇所を示す

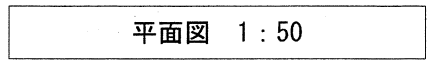
※既設配管の材質下記によるものとする。

給水管	一般部	水素用鋼「エポキシ粉体ライニング」鋼管 (FB)
埋設部	水素用鋼「エポキシ粉体ライニング」鋼管 (FD)	
		フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 (FVB)
		フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 (FVD)
		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VB)
		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VD)
排水管	屋外露出	配管用素鋼管 (SGP)

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	外構図4（改修前）	S=1/200 1/50 (A1) S=1/400 1/100 (A3)	株式会社 ミューパートナース 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	M-12



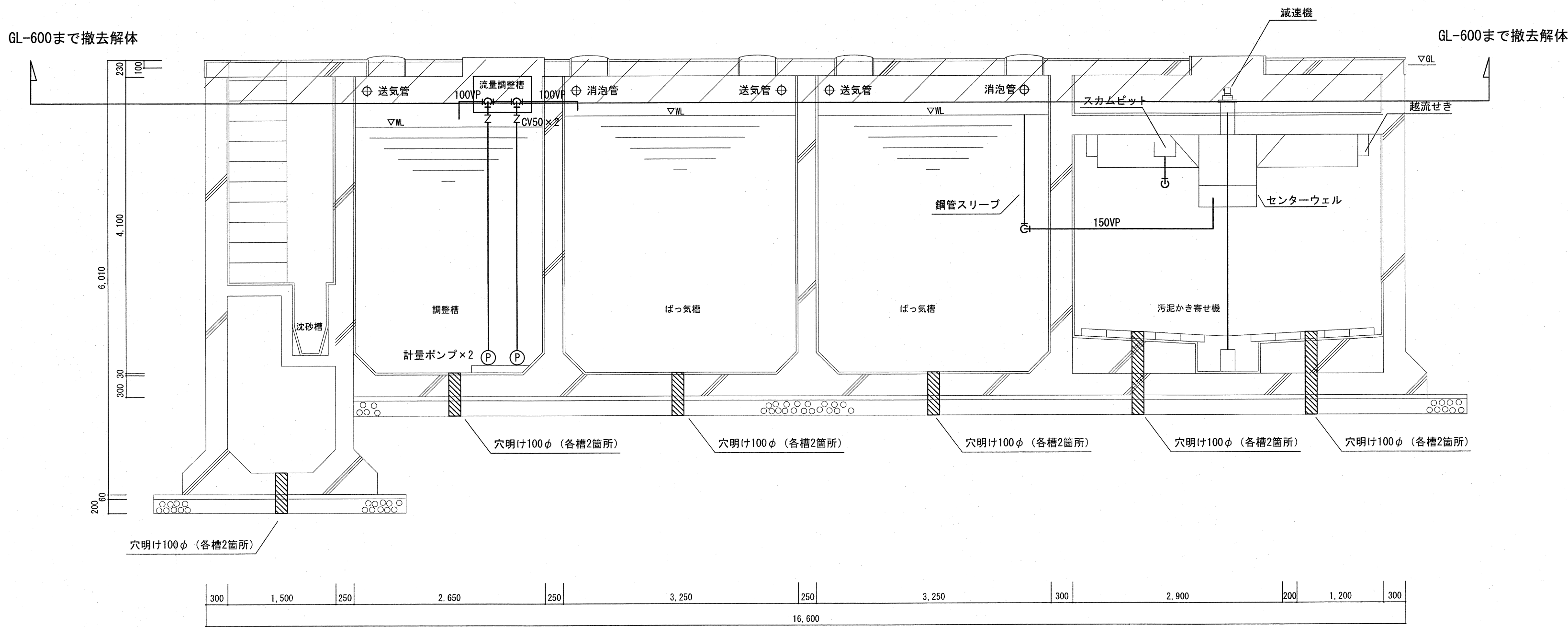
年 度	設 計 年 月	設 計 業 務 名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	外構図5（改修前）	S=1/200 (A1) S=1/400 (A3)	株式会社 ミューパートナーズ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当     	M-13



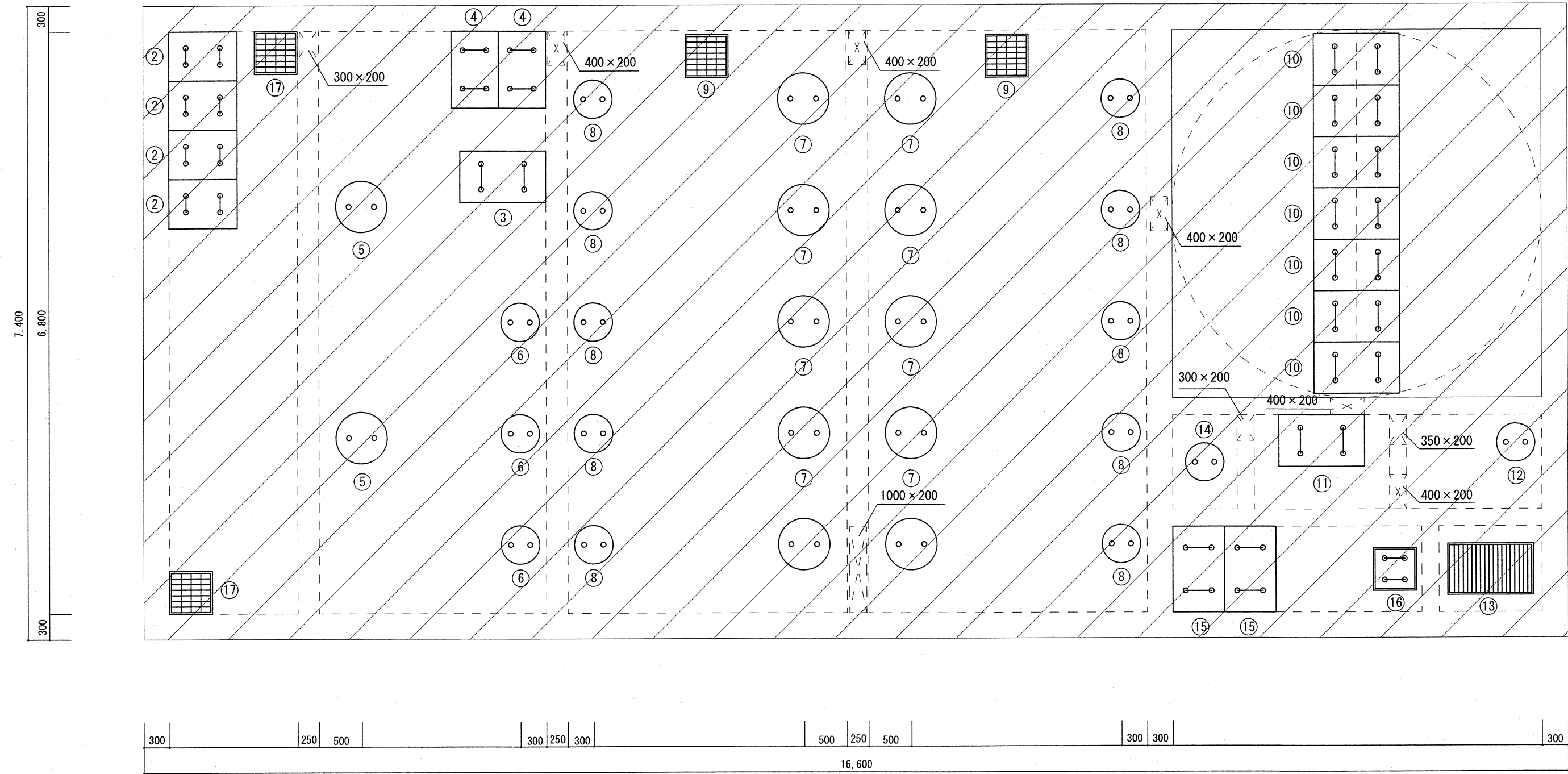
		吸込側	吐出側	
B-1	ばっ気ブロー→廻り	サイレンサー	安全弁・圧力計	撤去
			逆止弁（デオ式）100A、6V100A	
			球形フレキシブルジョイント100A	
			サイレンサー（ブロー→2台に対して1個）	
B-2	攪拌ブロー→廻り	サイレンサー	安全弁・圧力計	撤去
			逆止弁（デオ式）50A、6V50A	
			球形フレキシブルジョイント50A	
			サイレンサー（ブロー→2台に対して1個）	

- 【浄化槽撤去事項】
- ・コンクリート躯体はGL-600まで、研りの上、撤去とする。（斜線部分）
 - ・槽内部の汚泥抜き取り後、高圧洗浄で槽中の上消毒を行う。
 - ・槽内部機器、配管類及びブロウ室内の機器、制御盤、配管等全て撤去処分とする。
 - ・洗浄、機器撤去後、躯体底部に水溜りに無きように穴明けの上山砂充填とする。（充填は転圧を行うこと）
 - ・汚泥、その他産業廃棄物は場外処分とする。
 - ・ブロウ室、焼却炉機の解体はM-18に参照する。
 - ・地面上部は砂利敷きとする。

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
							事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	排水処理施設（西）平面図	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	株式会社 ミューバートナメ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	    	M-14

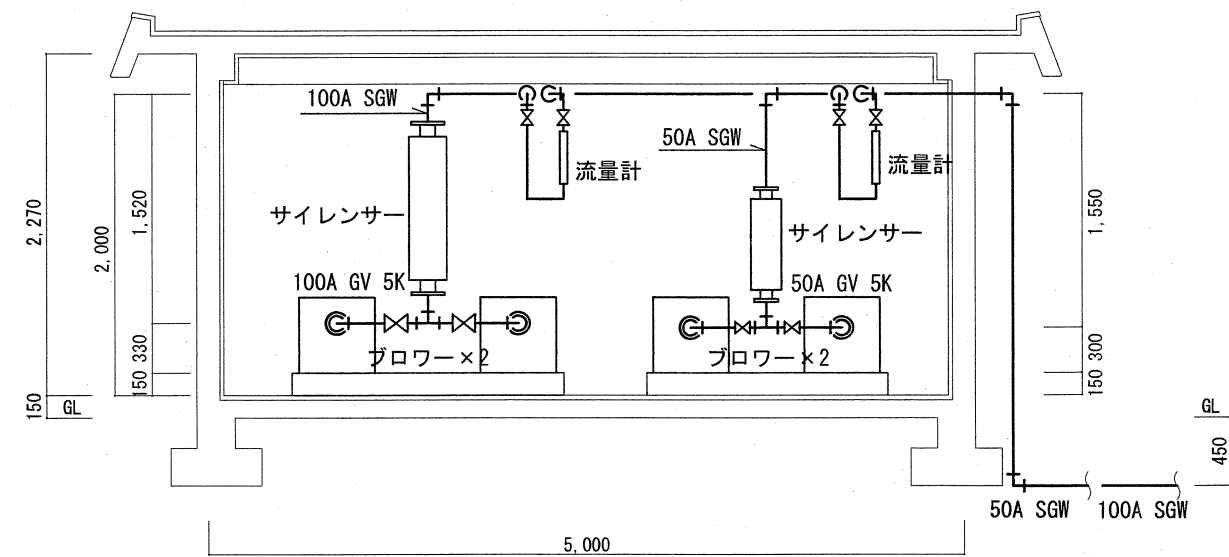
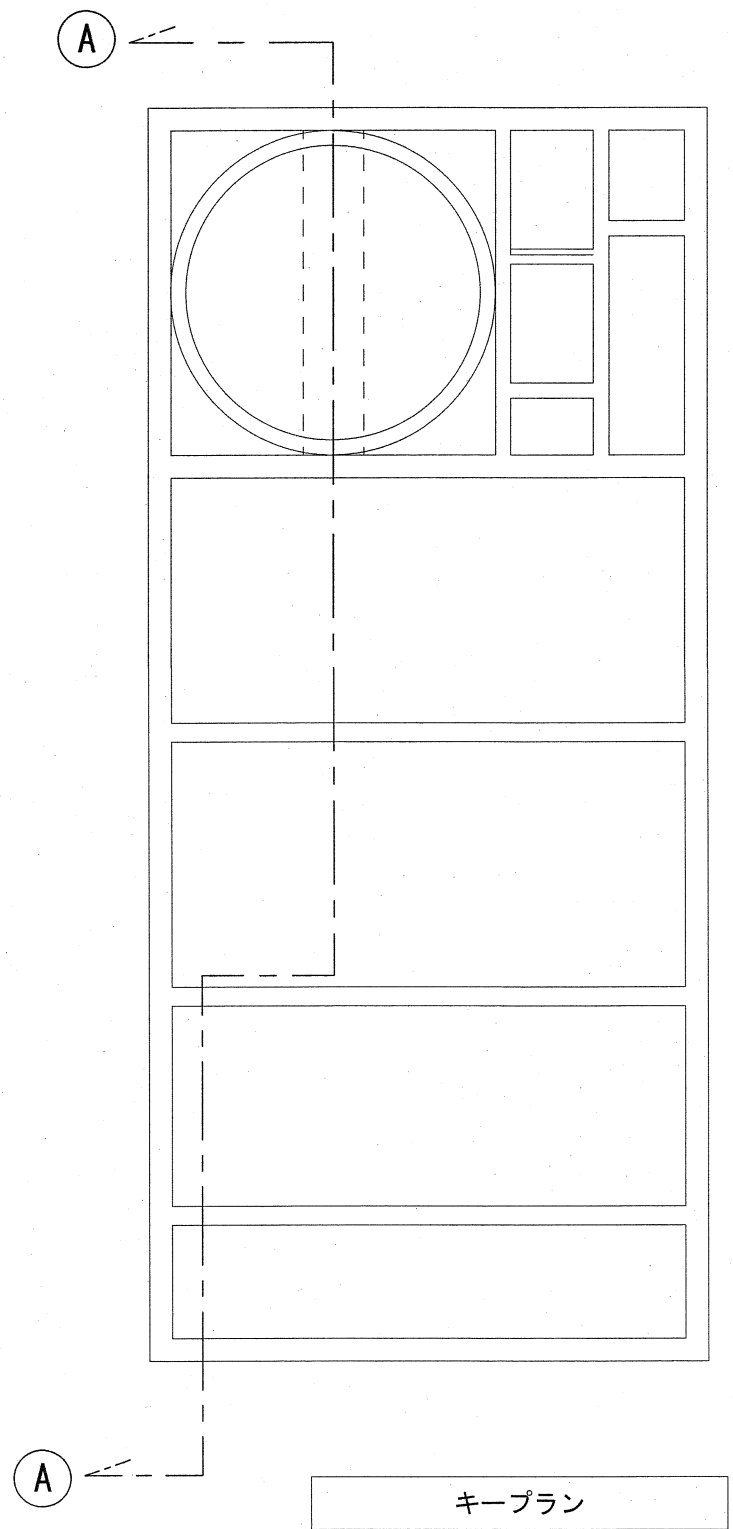


(A)-(A) 断面図 1:50



処理槽上部開口平面図 1:50

※マンホール及び計器類等は全て撤去とする。



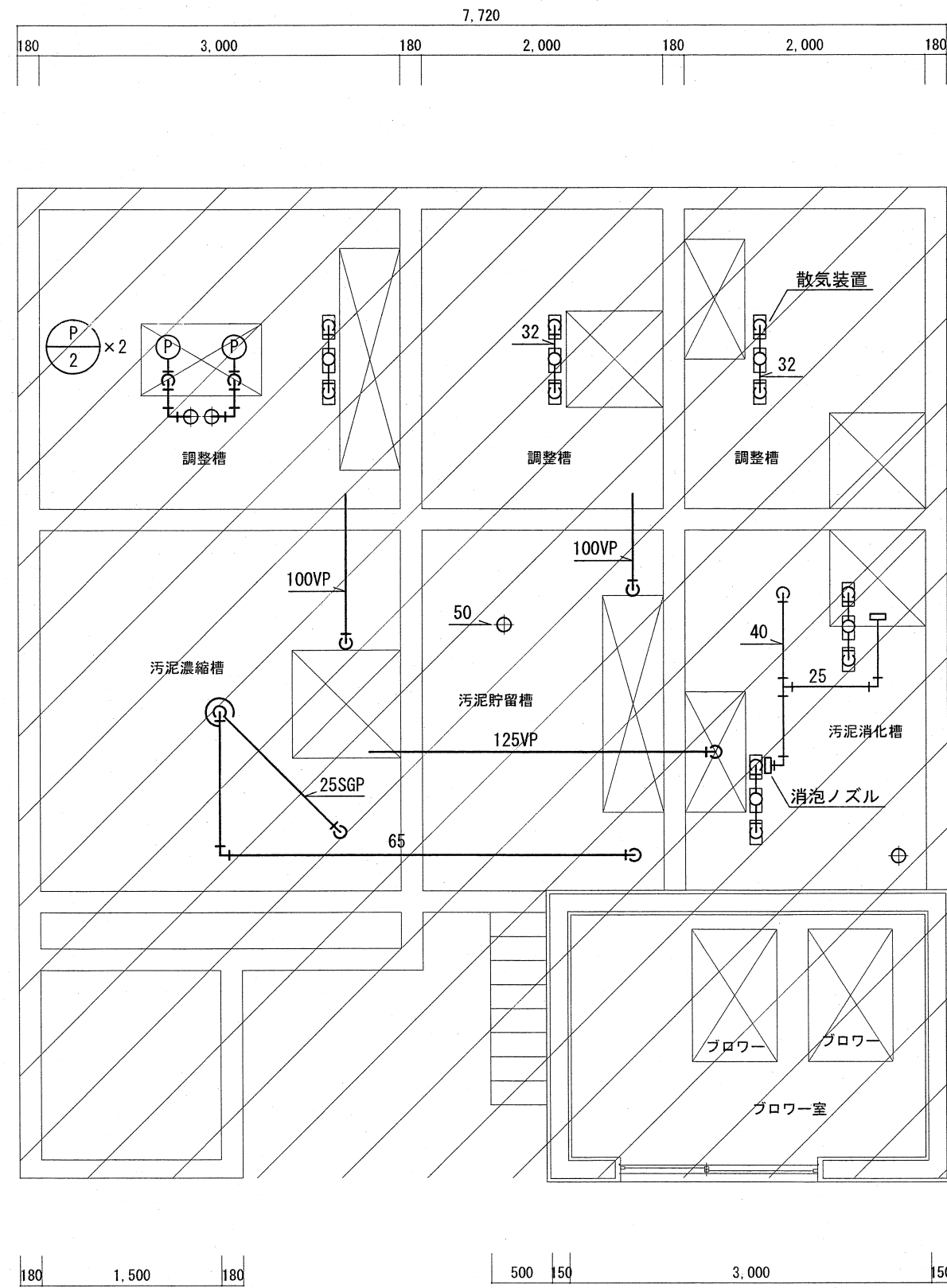
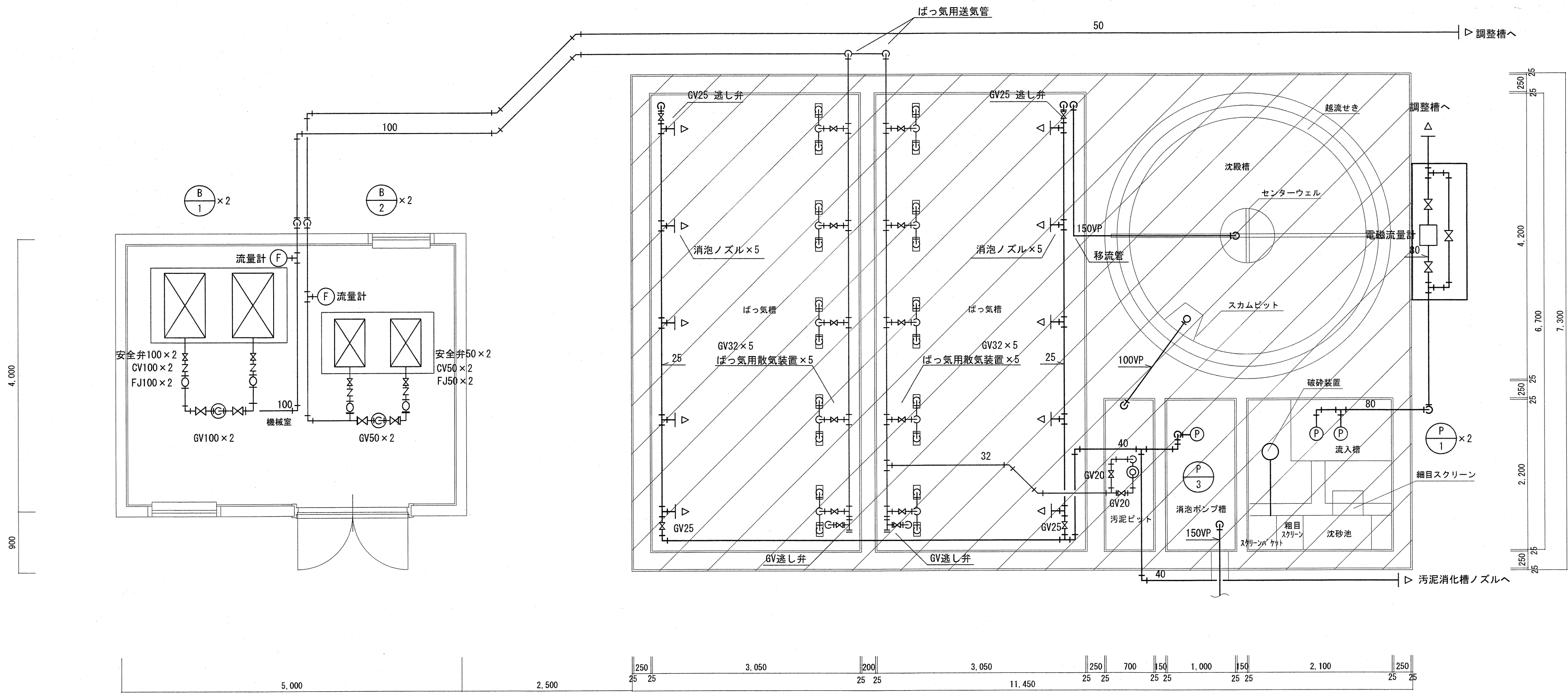
西廃水処理施設機械室断面図 1:50

記 号		蓋 仕 様			寸 法			枚数	備 考
		編鋼板	鋳鉄マンホール	グレーティング	長編 (W)	短辺 (H)	直径		
①	○				1000	600		2	転落防護欄付 撤去
②	○				800	575		4	転落防護欄付 撤去
③	○				1000	600		1	転落防護欄付 撤去
④	○				900	550		2	転落防護欄付 撤去
⑤			○				600	2	転落防護欄付 撤去
⑥			○				450	3	転落防護欄付 撤去
⑦			○				600	10	転落防護欄付 撤去
⑧			○				450	10	転落防護欄付 撤去
⑨				○	500	500		2	転落防護欄付 撤去
⑩	○				1000	600		7	転落防護欄付 撤去
⑪	○				1000	600		1	転落防護欄付 撤去
⑫			○				450	1	転落防護欄付 撤去
⑬				○	1000	600		1	転落防護欄付 撤去
⑭			○				450	1	転落防護欄付 撤去
⑮	○				1000	650		2	転落防護欄付 撤去
⑯	○				500	500		1	転落防護欄付 撤去
⑰				○	500	500		2	転落防護欄付 撤去

年 度	設 計 年 月	設 計 業 務 名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	排水処理施設（西） 断面図・開口平面図	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	株式会社 ミューバートナイズ 名古屋市中村区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当     	M-15

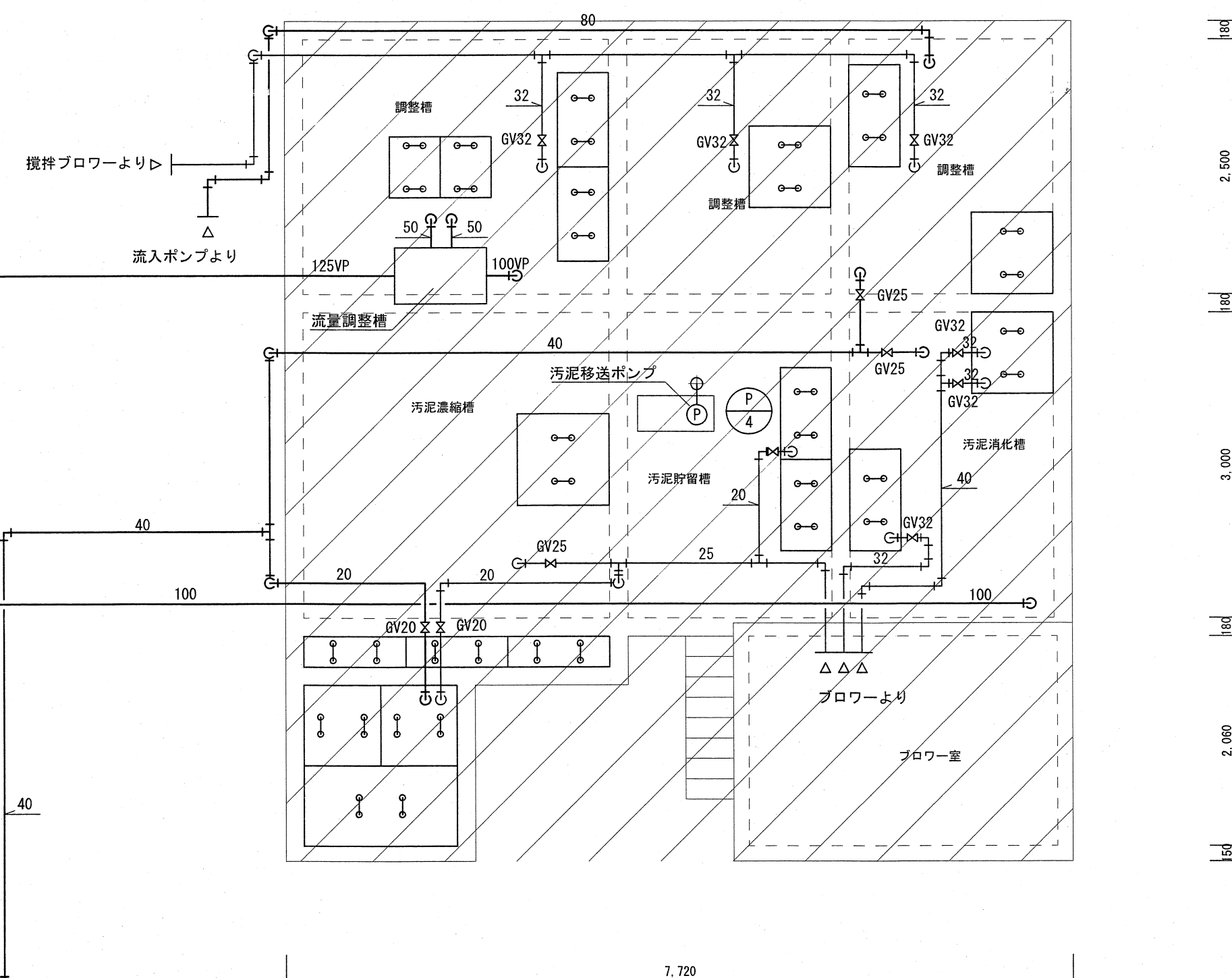
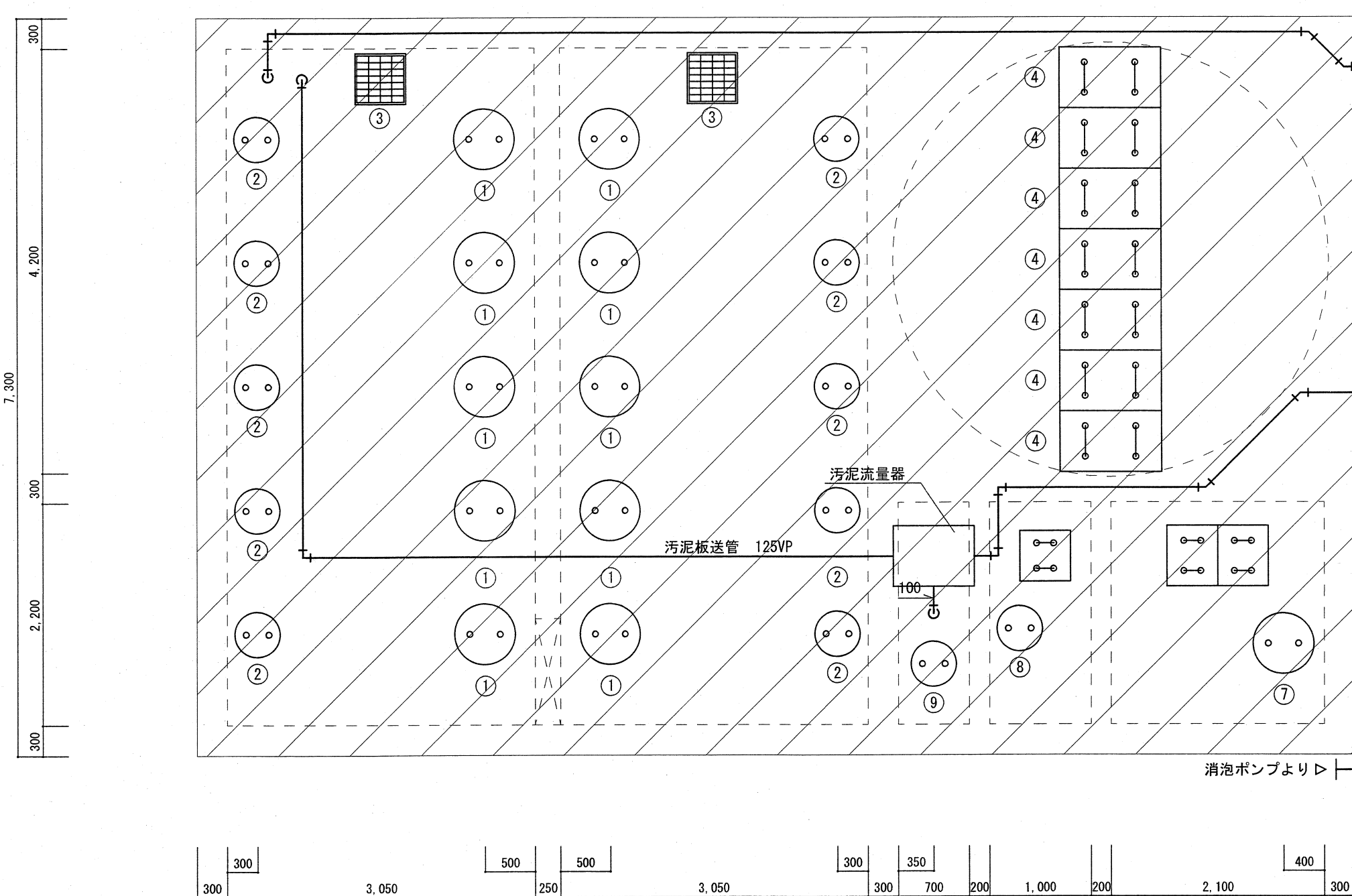
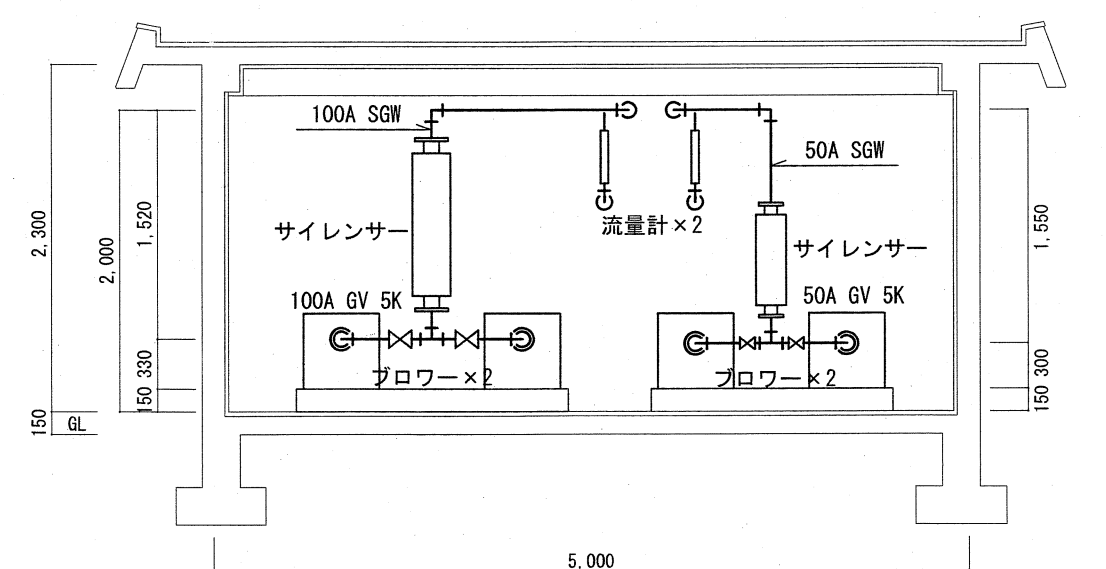
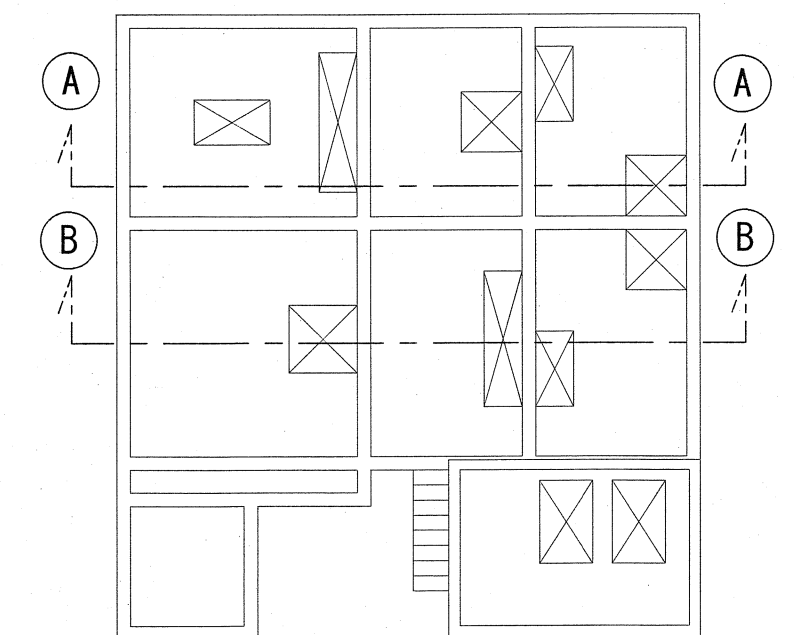
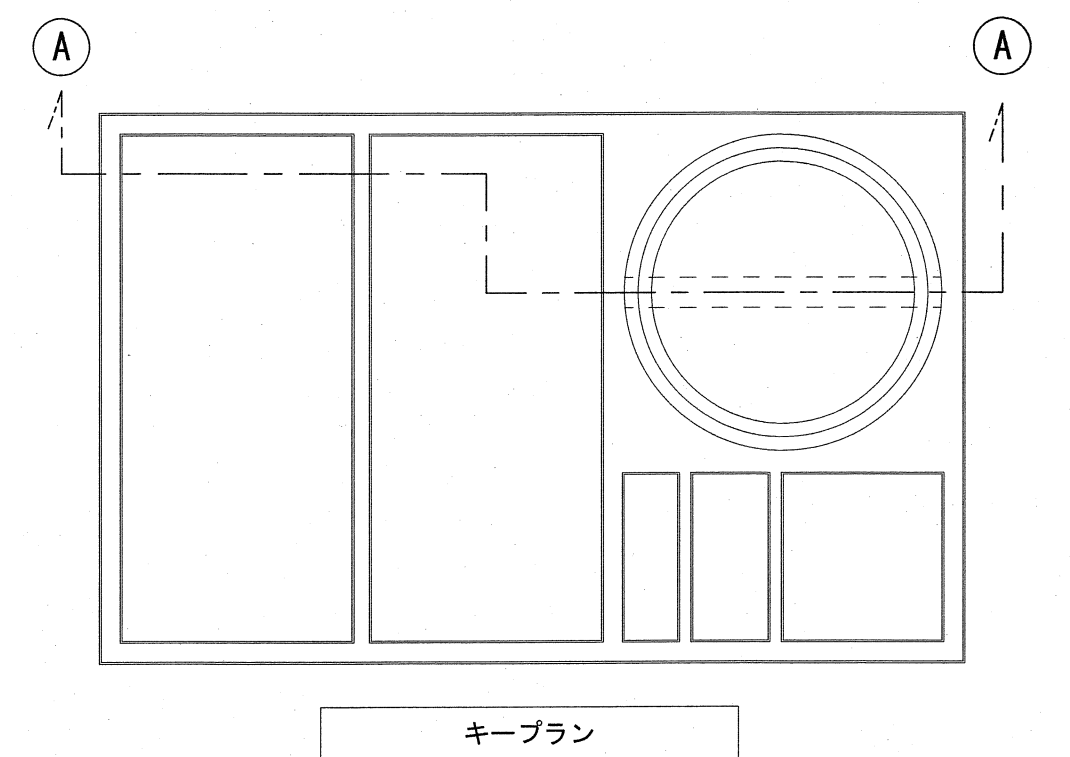
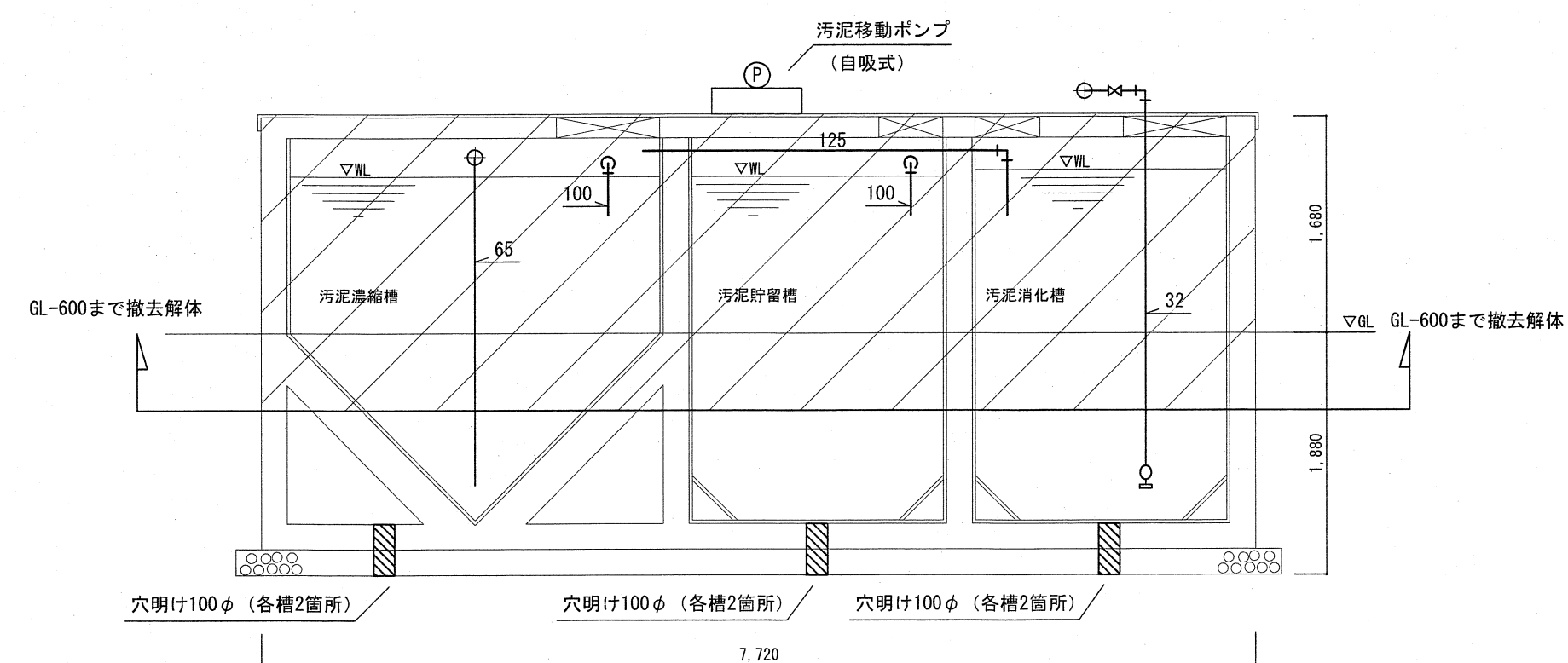
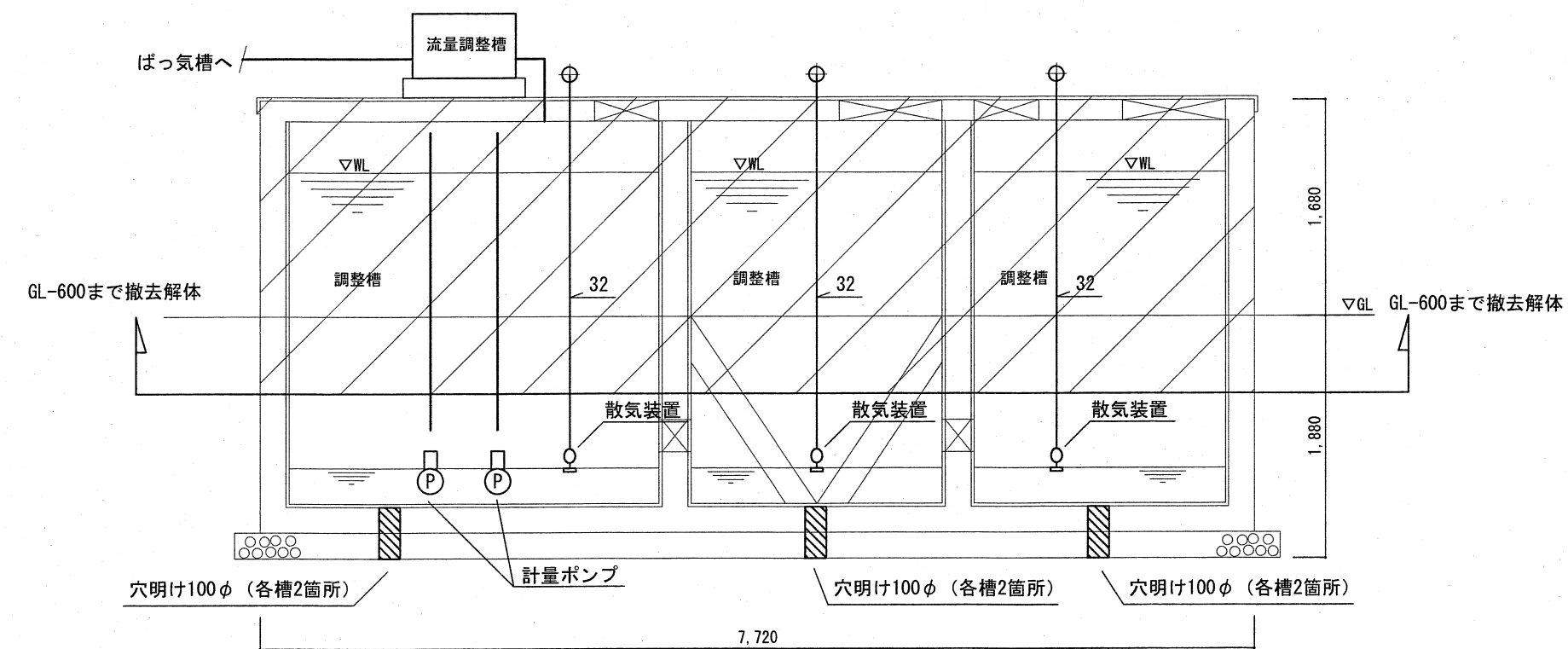
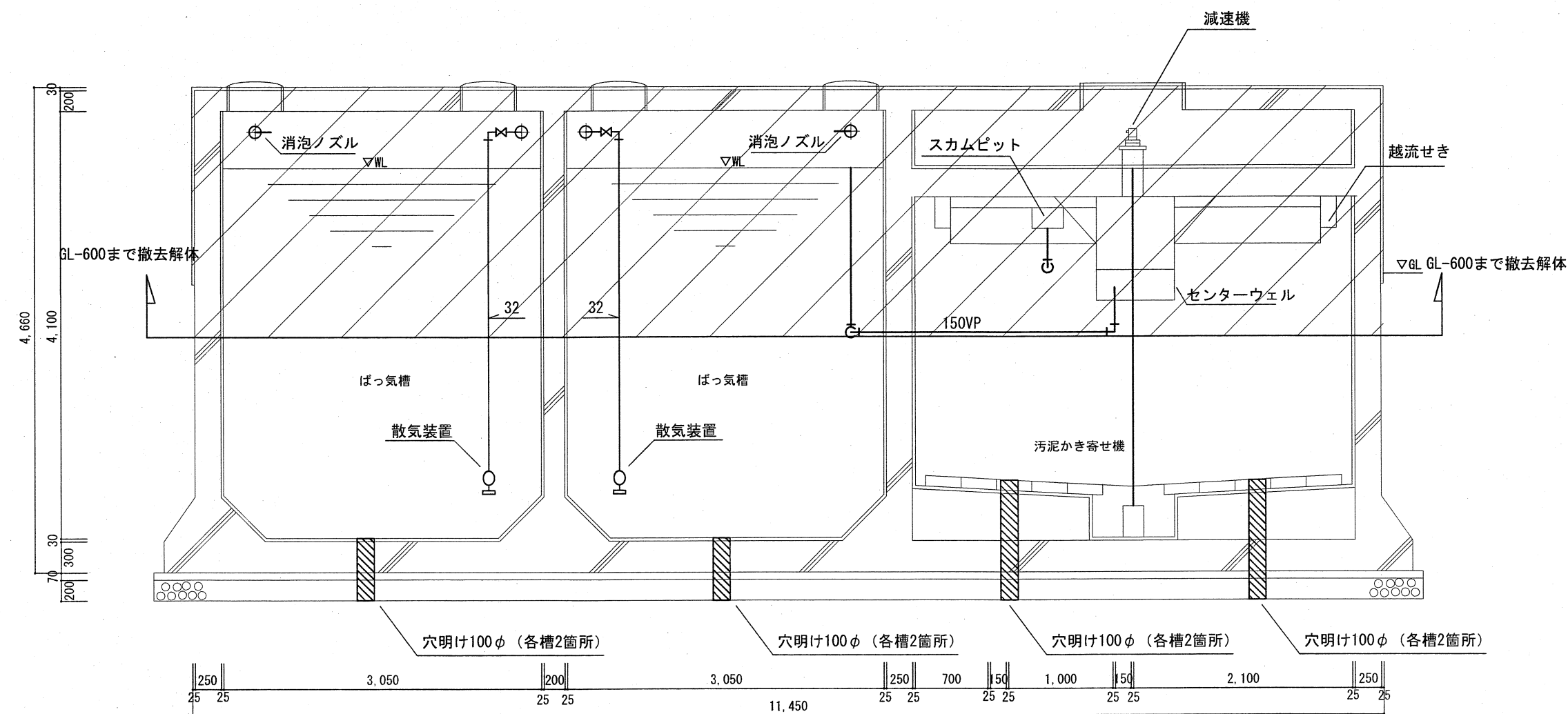
機器一覧表（改修前）						
記 号	名 称	仕 様	追 圧	動 力	台 数	設 置 場 所
P-1	流入ポンプ	形式：水中汚物 80mmφ×0.5m3/min×8m	200V	1.5kw	2	流入槽
					(内1台予備)	着脱装置付
P-2	計量ポンプ	形式：水中汚物 50mmφ×0.21m3/min×8m	200V	0.75kw	2	調整槽
					(内1台予備)	着脱装置付
P-3	消泡ポンプ	形式：水中汚物 50mmφ×0.25m3/min×15m	200V	1.5kw	1	消泡ポンプ槽
	減速機	形式：遊星形 1/18.821×120kgm	200V	0.2kw	1	沈殿槽
B-1	ばっ気ブロー	形式：ルーツ型 100mmφ×4.2Nm3/min×0.4kg/cm2	200V	7.5kw	2	機械室
					(内1台予備)	
B-2	攪拌ブロー	形式：ルーツ型 50mmφ×0.8Nm3/min×0.4kg/cm2	200V	2.2kw	2	機械室
					(内1台予備)	
EF-1	排風機	形式：有圧扇 400mmφ×3200m3/hr×10mmHg	100V	120w	1	機械室
P-4	汚泥引抜ポンプ	形式：ルーツ型 40φ×20L/min×10m	200V	1.5kw	1	槽上
	破砕装置	形式：電動運式破砕機 ドラム寸法7吋 処理量：220～1200m3/日	200V	0.2kw	1	流入槽上

【浄化槽撤去事項】
・コンクリート躯体はGL-600まで、研りの上、撤去とする。（斜線部分）
・槽内部の汚泥抜き取り後、高圧洗浄で清掃の上消毒を行う。
・槽内部機器、配管類及びブロー室内の機器、制御盤、配管類等全て撤去処分とする。
・洗浄、機器撤去後、躯体底部に水溜りに無きように穴明けの上山砂充填とする。（充填は転圧を行うこと）
・汚泥、その他産業廃棄物は場外処分とする。
・ブロー室の解体はM-18に参照する。
・地面上部は砂利敷きとする。



平面図 1 : 50

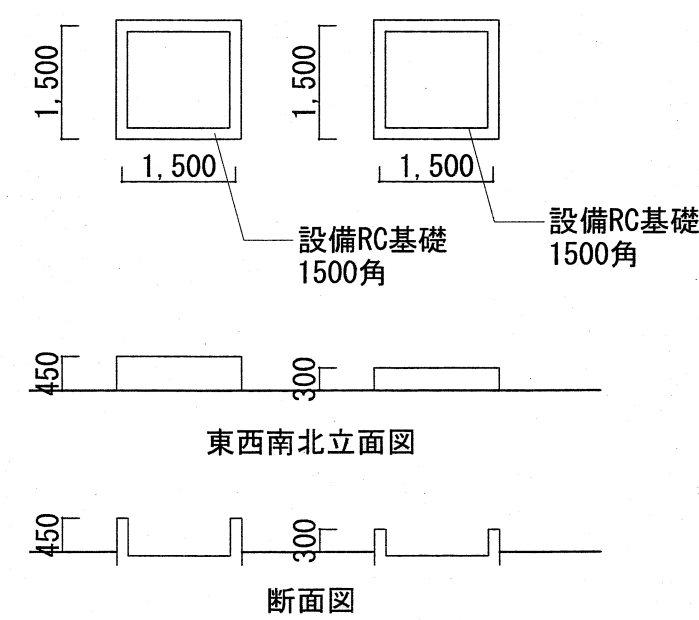
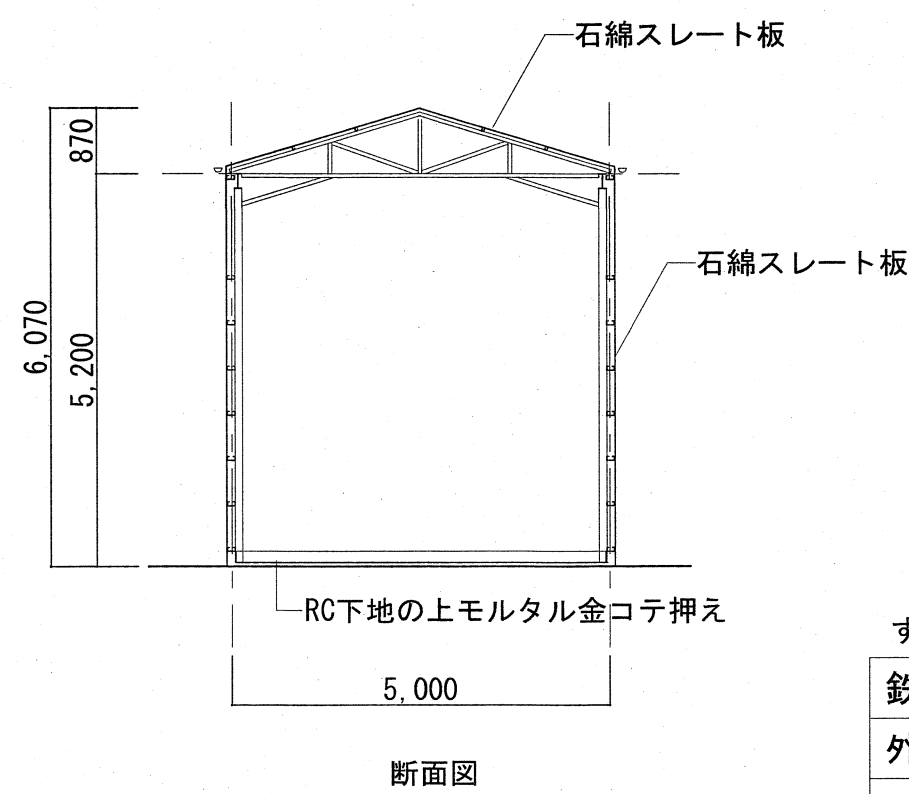
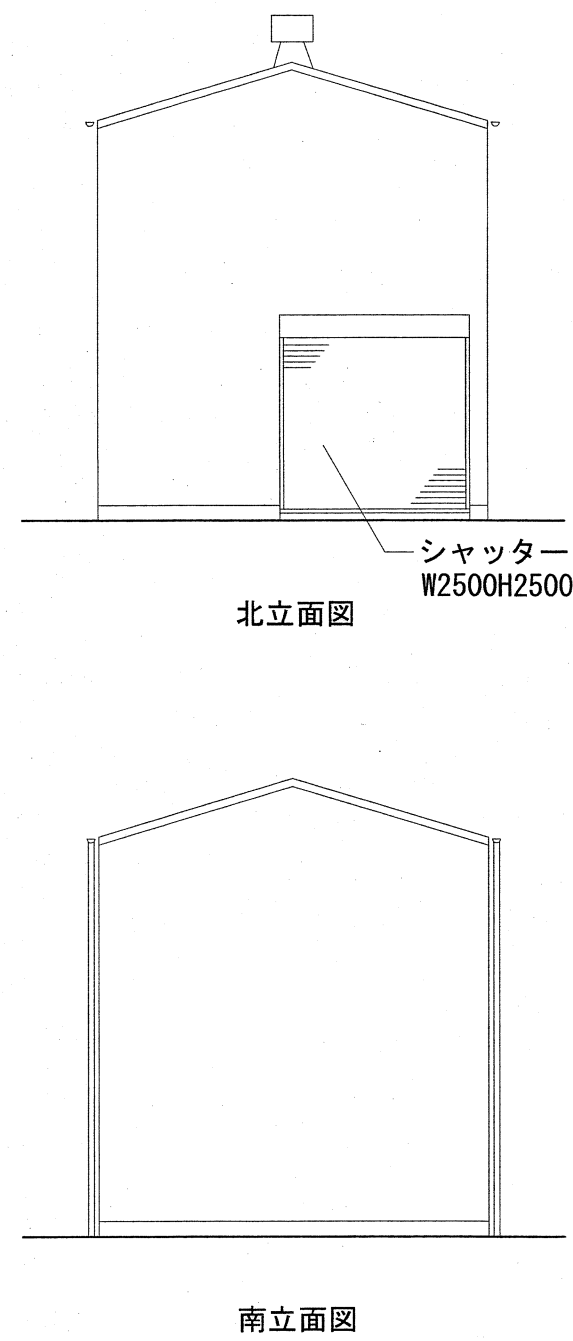
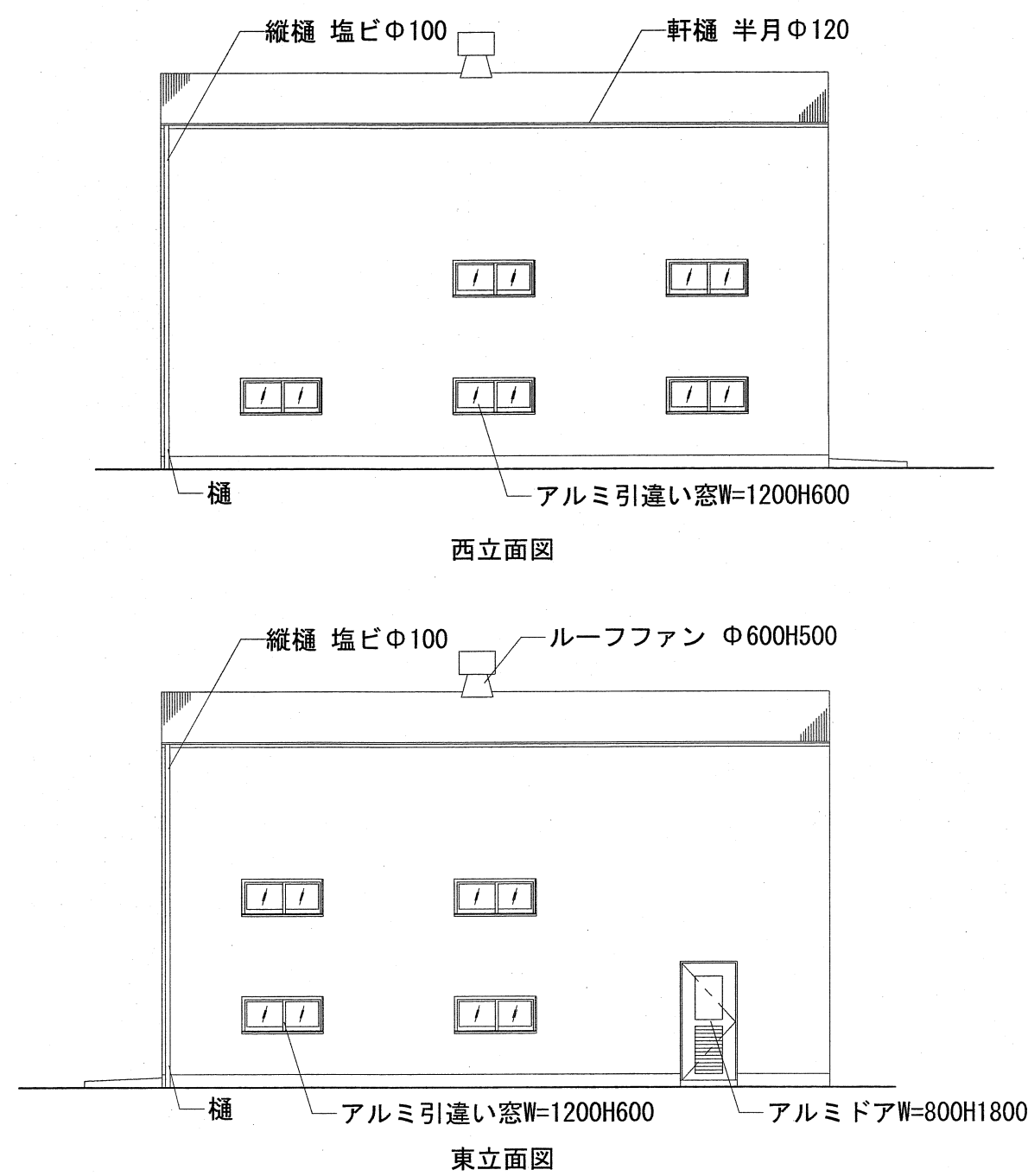
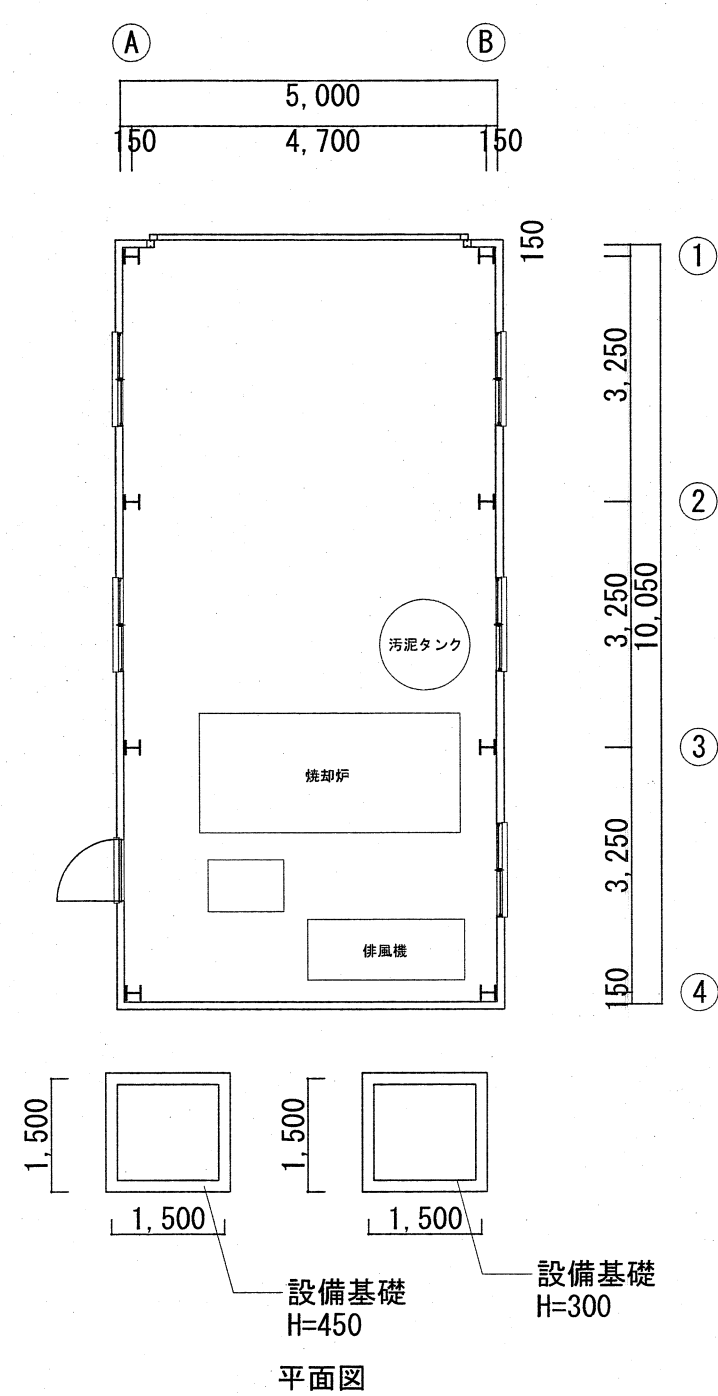
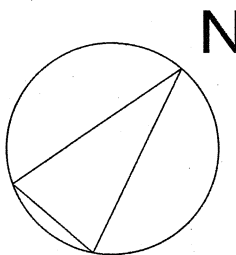
年 度	設 計 年 月	設 計 業 務 名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校					図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	排水処理施設（東） 平面図	S=1/50(A1) S=1/100(A3)	株式会社 ミューパートナーズ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 一 亮	事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	M-16



蓋リスト

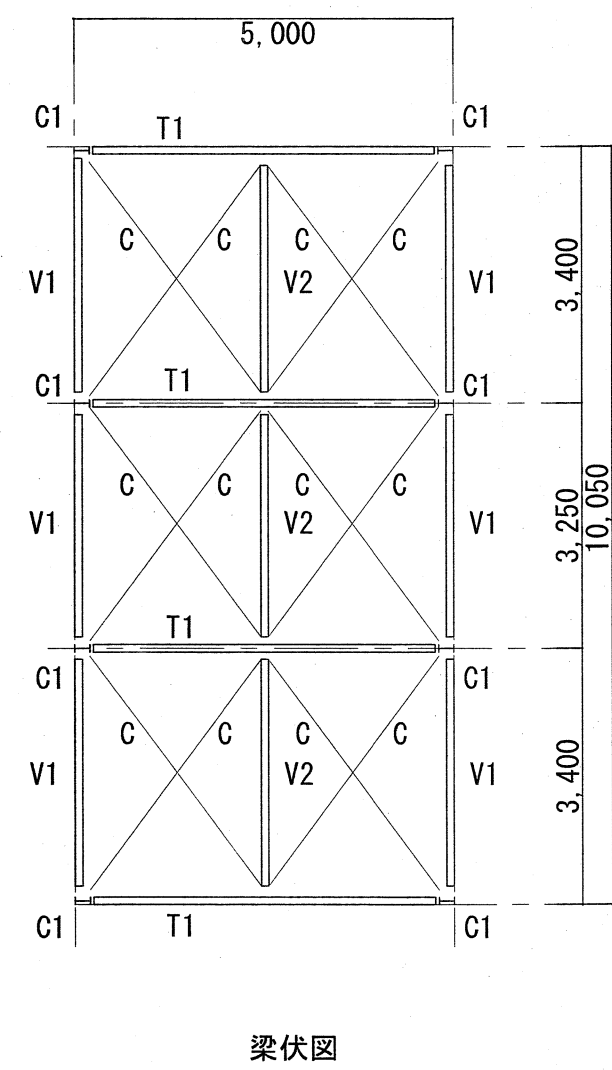
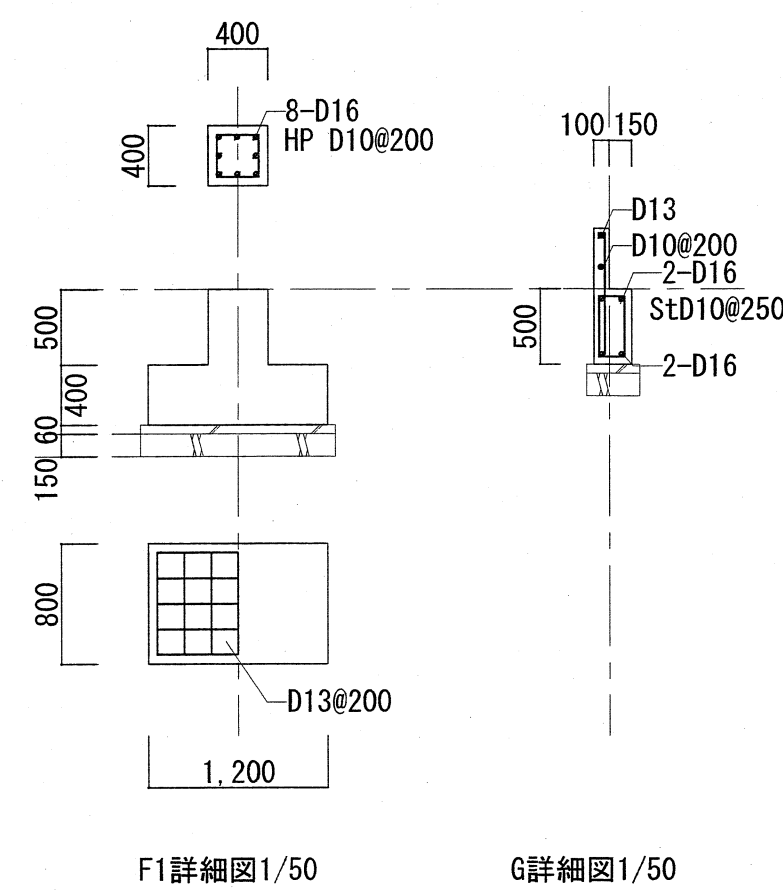
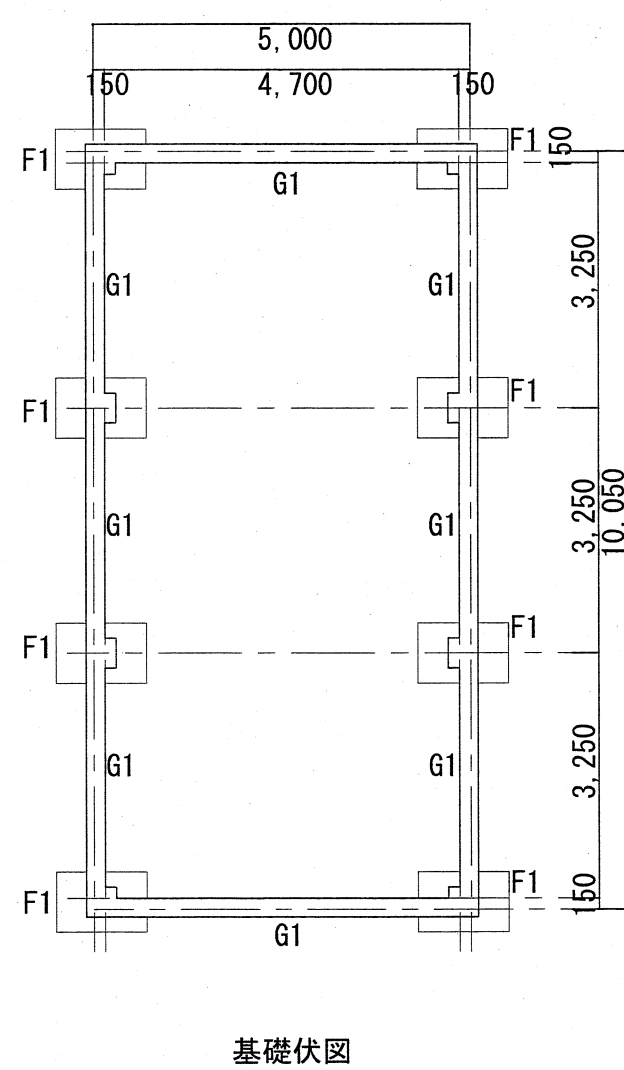
記 号	差 仕 様			寸 法			枚数	備 考
	鋼鋼板	鉄鉄マンホール	グレーチング	長 編 (W)	短 辺 (H)	直 径		
①		○				600	10	乾落防護欄付 撤去
②		○				450	10	乾落防護欄付 撤去
③			○	500	500		2	乾落防護欄付 撤去
④	○			1000	600		7	乾落防護欄付 撤去
⑤	○			500	500		1	乾落防護欄付 撤去
⑥	○			1000	600		1	乾落防護欄付 撤去
⑦		○				600	1	乾落防護欄付 撤去
⑧		○				450	1	乾落防護欄付 撤去
⑨		○				450	1	乾落防護欄付 撤去

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	排水処理施設（東） 断面図・開口平面図	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	株式会社 ミューバートナズ 名古屋市中区新尾張3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当     	M-17

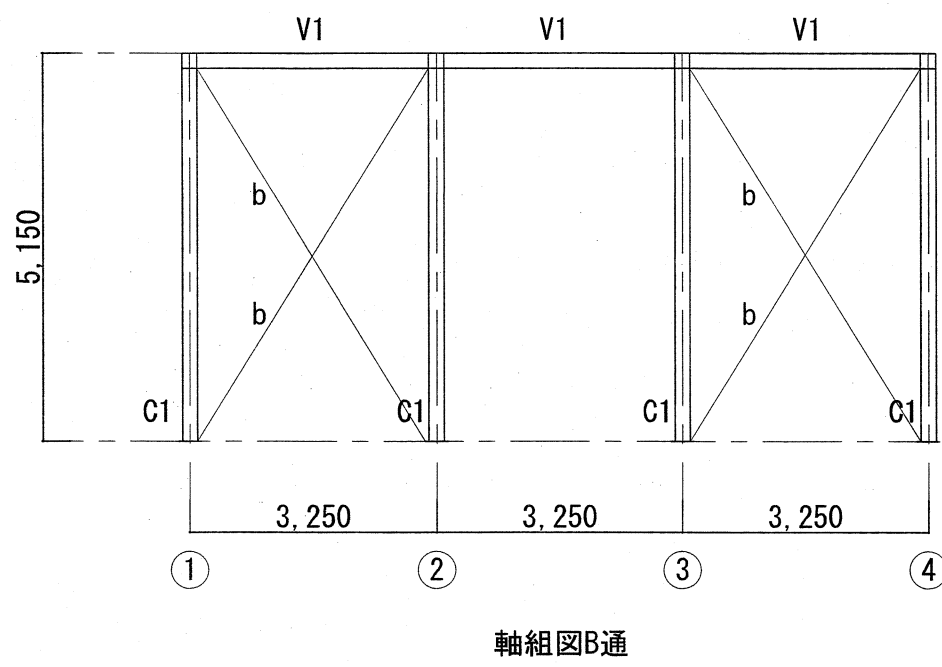
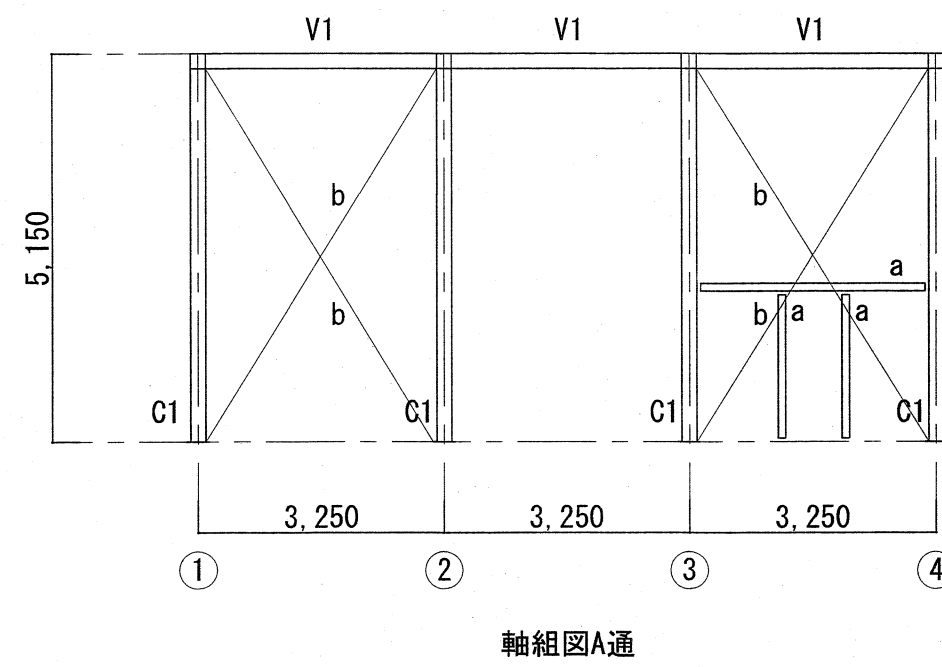
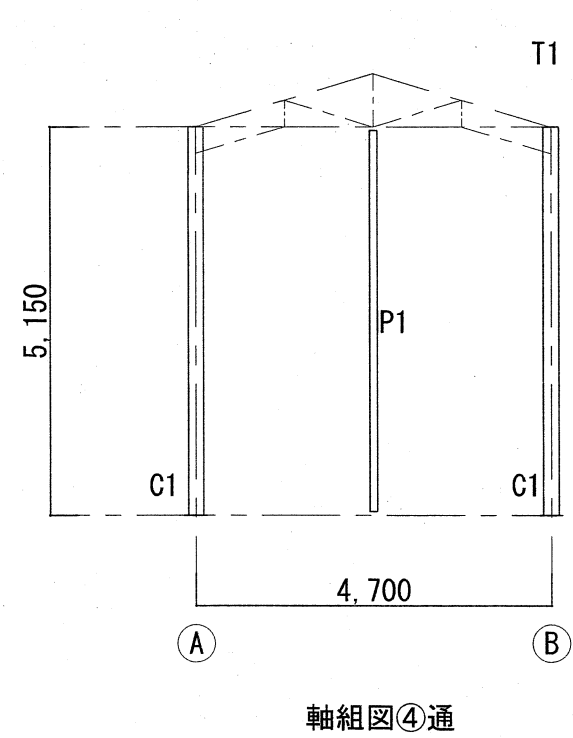
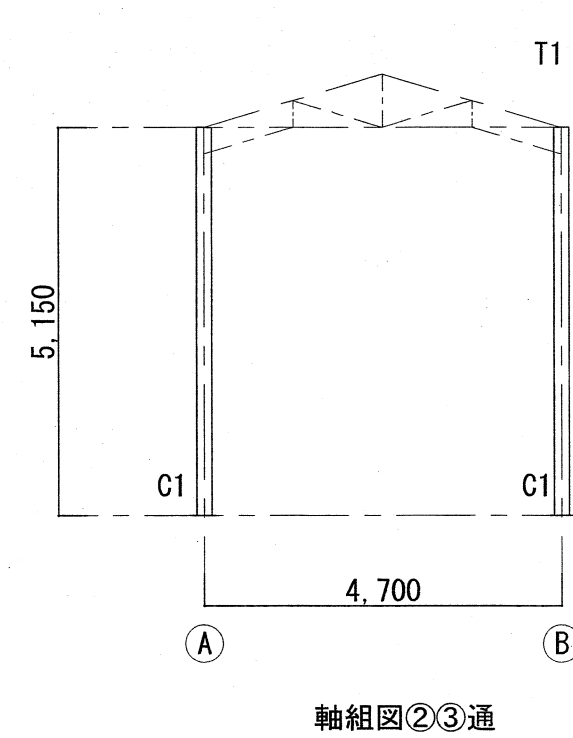
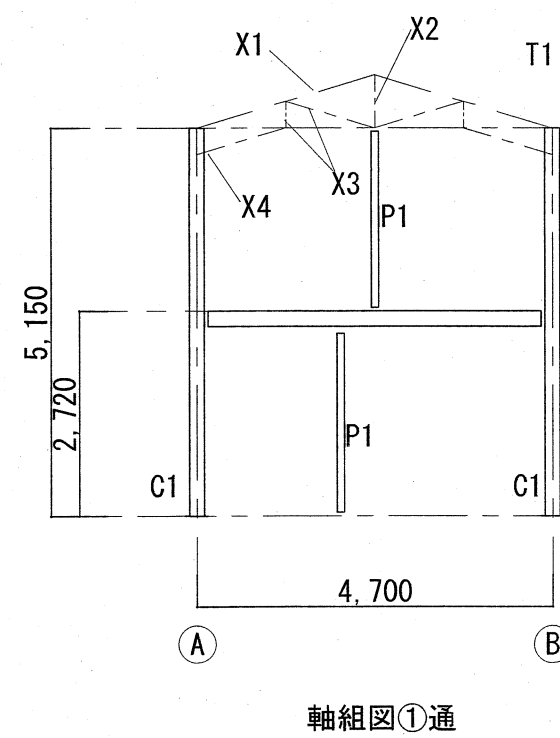


すべて撤去			
鉄骨造平屋建て		内部仕上表	
外部仕上表		内部仕上表	
屋根	石綿スレート板(アスベスト含有品)	床	RC下地の上モルタル金コテ押え
外壁	石綿スレート板(アスベスト含有品)	壁	石綿スレート板あらわし
幅木	RC下地の上モルタル金ゴテ押え	幅木	RC下地の上モルタル金コテ押え
竖樋	塩ビパイプφ100	天井	石綿スレート板あらわし

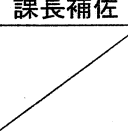
建物内部の焼却炉及びその附属設備はすべて撤去処分とする。
焼却炉内の灰にはダイオキシンは含まれていません。

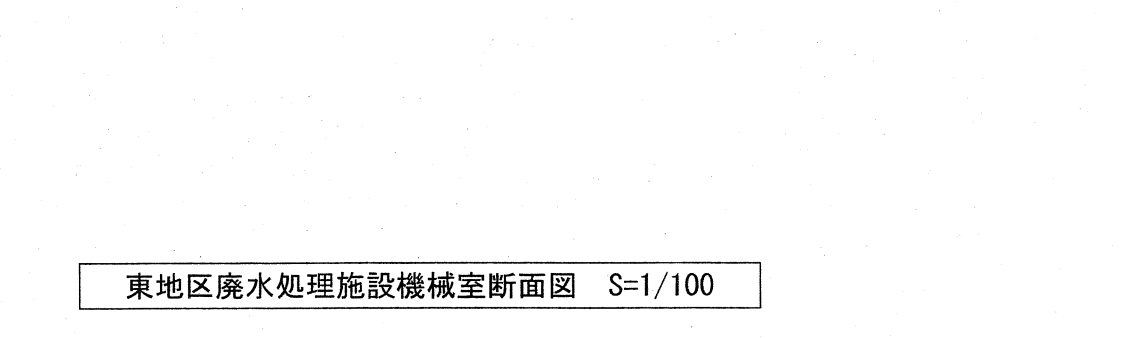
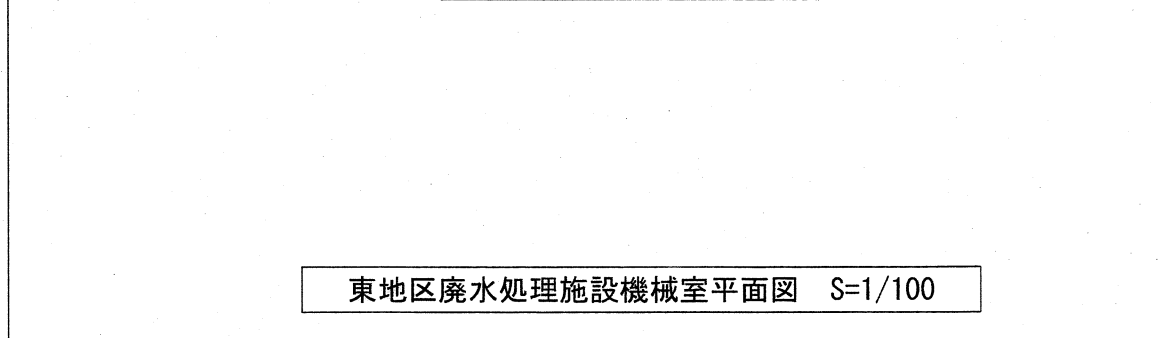


凡例			
V1	H-200x100x5.5x8	P2	C-150x75x6.5
		a	2C-100x50x20x2.3
V2	H-200x100x5.5x8	b	φ16
C1	H-200x200x8x12	c	φ13
		母屋	C-100x50x20x2.3
P1	H-200x100x5.5x8	胴縁	C-100x50x20x2.3



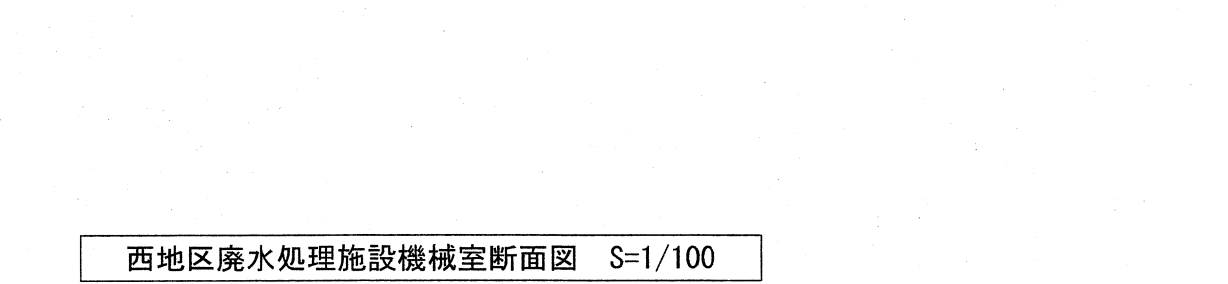
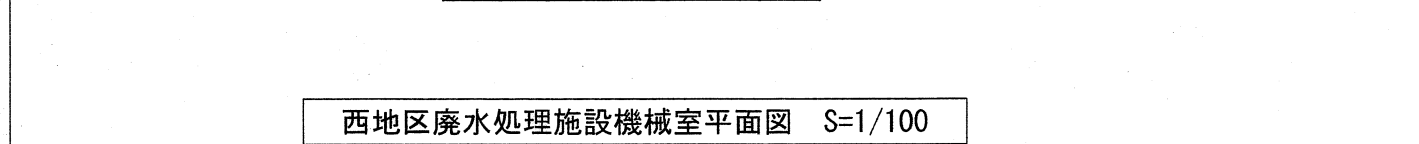
凡例			
X1	2LS-65x65x6	P2	C-150x75x6.5
X2	2LS-50x50x6	a	2C-100x50x20x2.3
X3	L-65x65x6	b	φ16
X4	2LS-65x65x6	c	φ13
		母屋	C-100x50x20x2.3
P1	H-200x100x5.5x8	胴縁	C-100x50x20x2.3

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	脱水焼却棟解体図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	株式会社 ミューパートナーズ 名古屋市中村区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 福田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当     	M-18

[illegible]

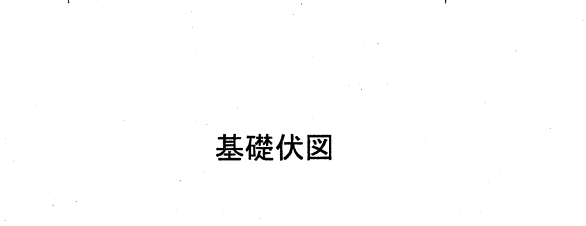
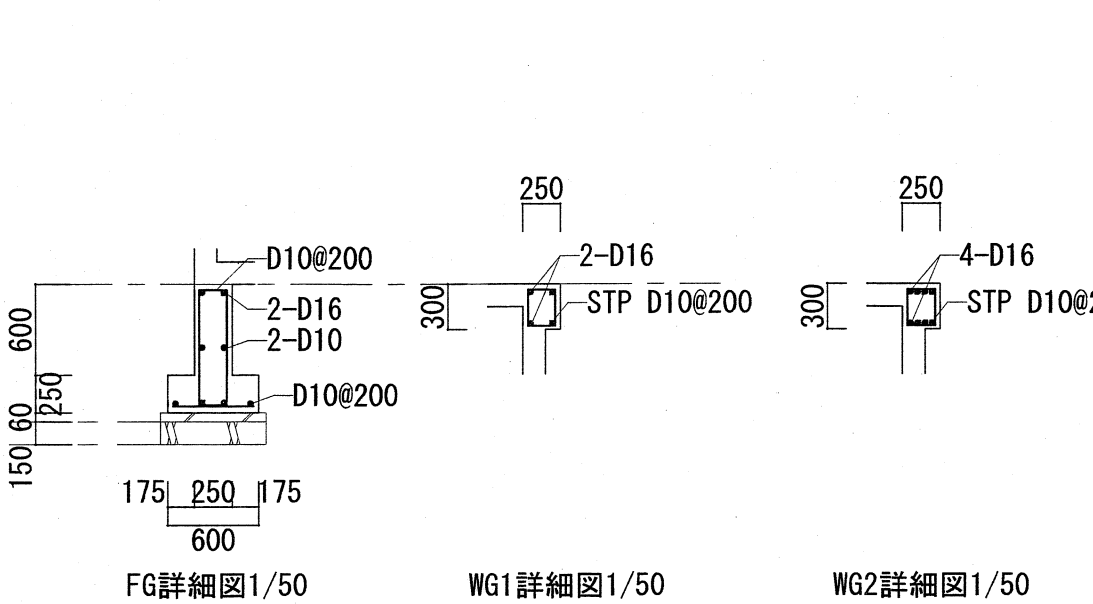
すべて撤去			
鉄筋コンクリート造平屋建て			
外部仕上表		内部仕上表	
屋根	RC下地の上防水モルタル塗	床	RC下地の上モルタル金コテ押え
外壁	RC下地の上リシン吹付	壁	RC下地の上グラスウール布団貼 t=50
幅木	RC下地の上モルタル金ゴテ押え	幅木	RC下地の上モルタル金コテ押え
縦樋	塩ビパイプφ100 OP塗	天井	RC現し

西地区废水处理施設機械室	
--------------	--



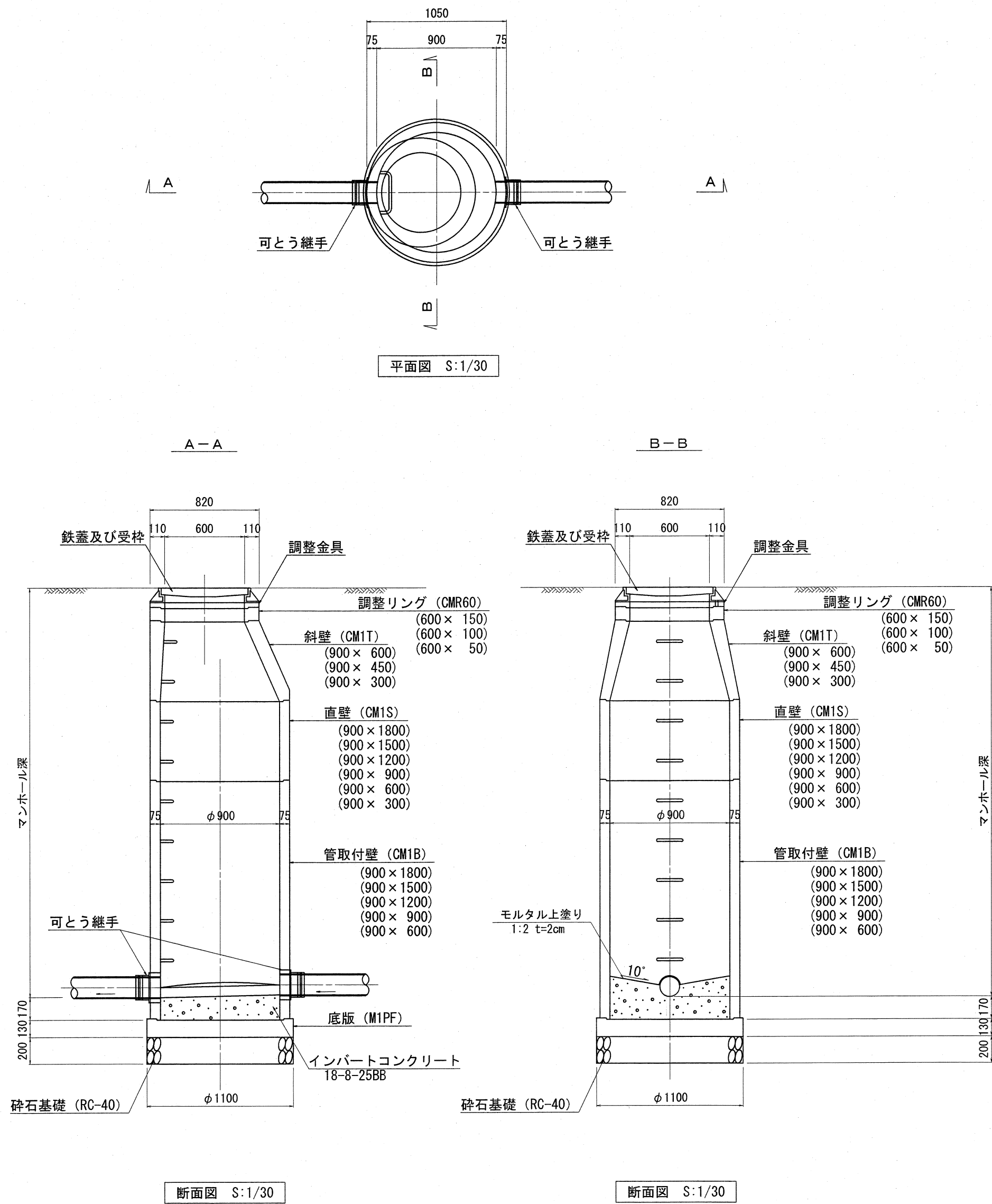
すべて撤去			
鉄筋コンクリート造平屋建て			
外部仕上表		内部仕上表	
屋根	RC下地の上防水モルタル塗	床	RC下地の上モルタル金コテ押え
外壁	RC下地の上リシン吹付	壁	RC下地の上グラスウール布団貼 t=50
幅木	RC下地の上モルタル金ゴテ押え	幅木	RC下地の上モルタル金コテ押え
竖樋	塩ビパイプφ100 OP塗	天井	RC現し

構造図 東地区西地区共通

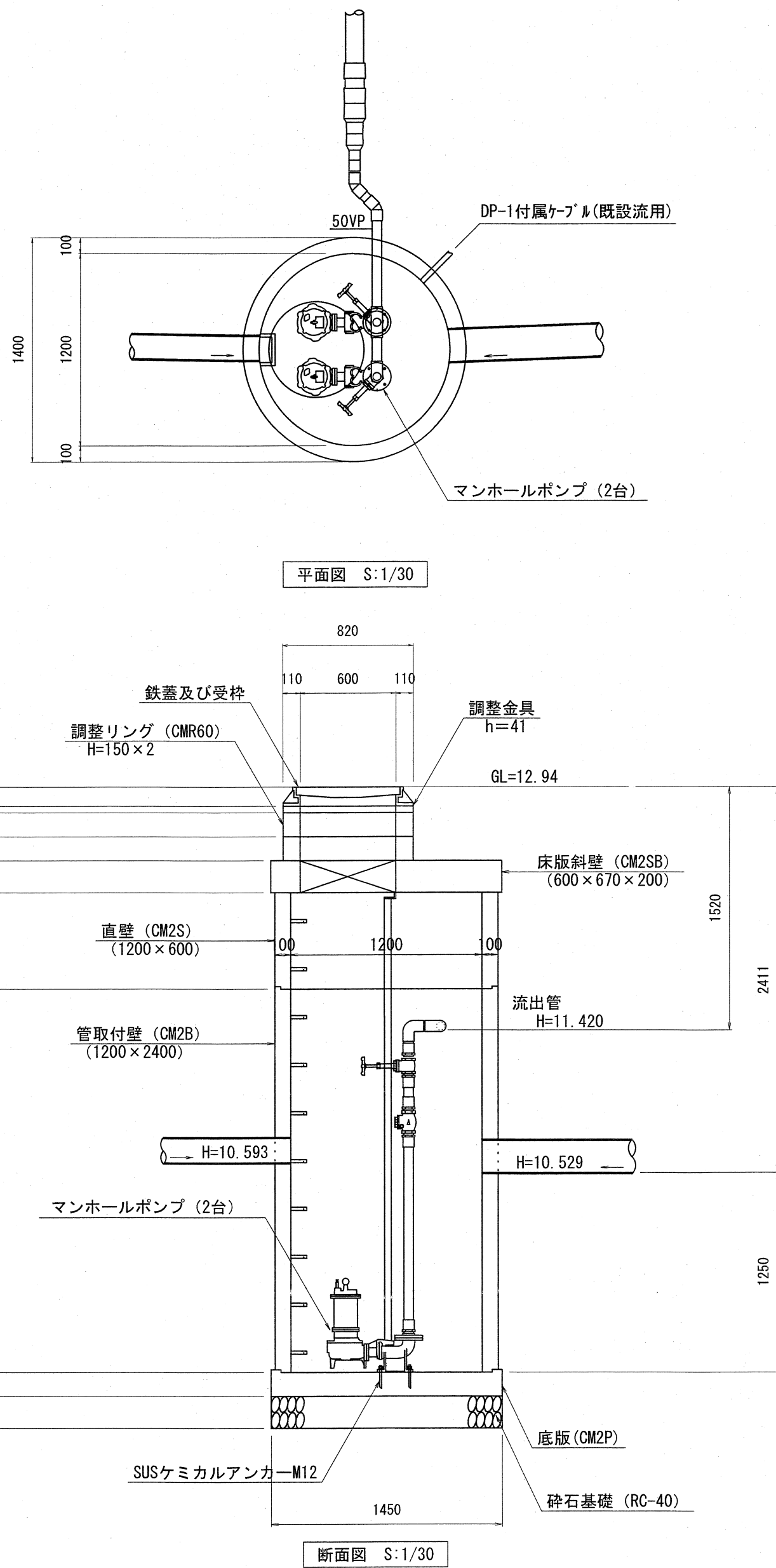


年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
							事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	廃水処理施設機械室（東地区・西地区）解体図	S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)	株式会社 ミューバートナイズ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 楠田 亮	    	M-19

組立1号マンホール標準図



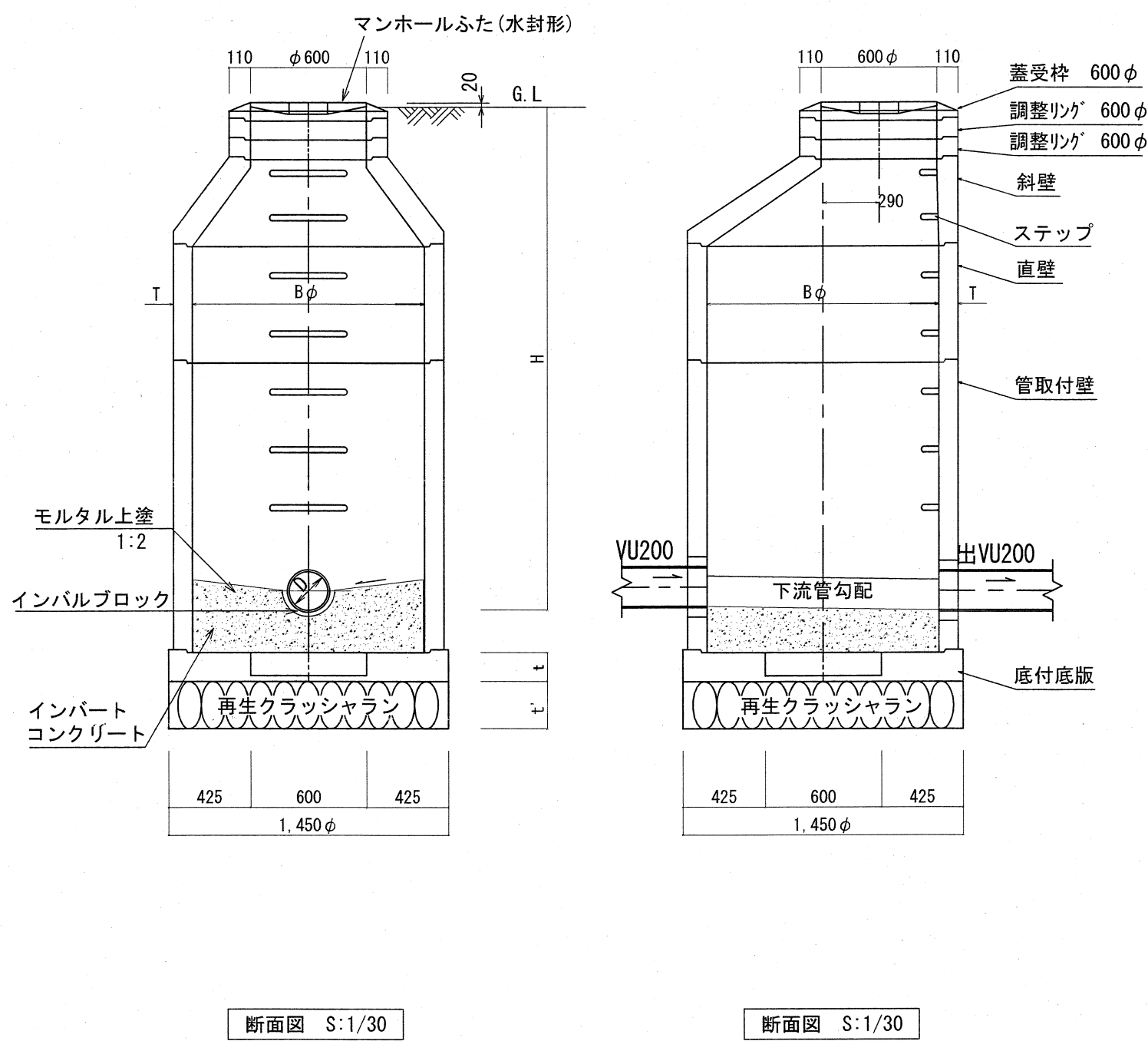
S-119 組立2号マンホール詳細図



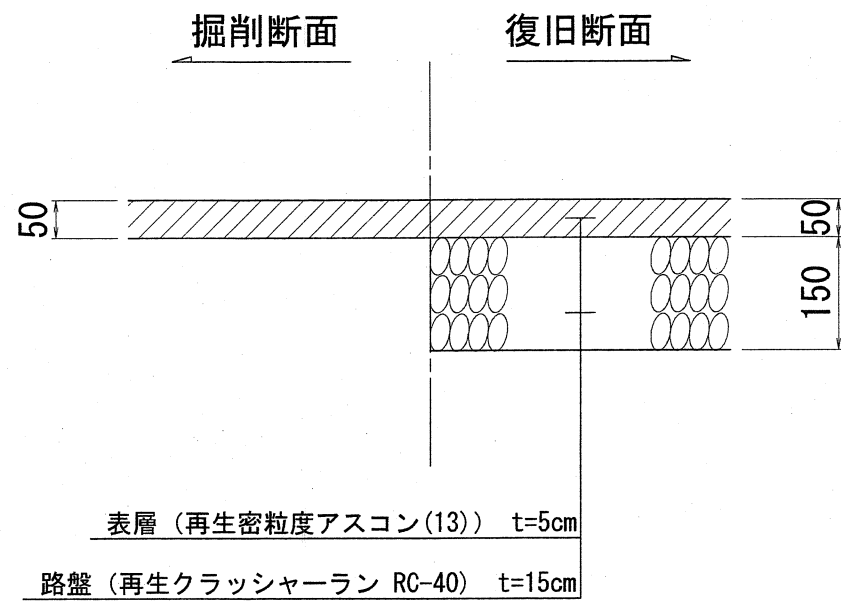
組立マンホール SC-5

記号	B	H	T	t	t'	ふた
SC-5	1,200φ	2,510~3,500	100	150	200	鑄鉄蓋 -600

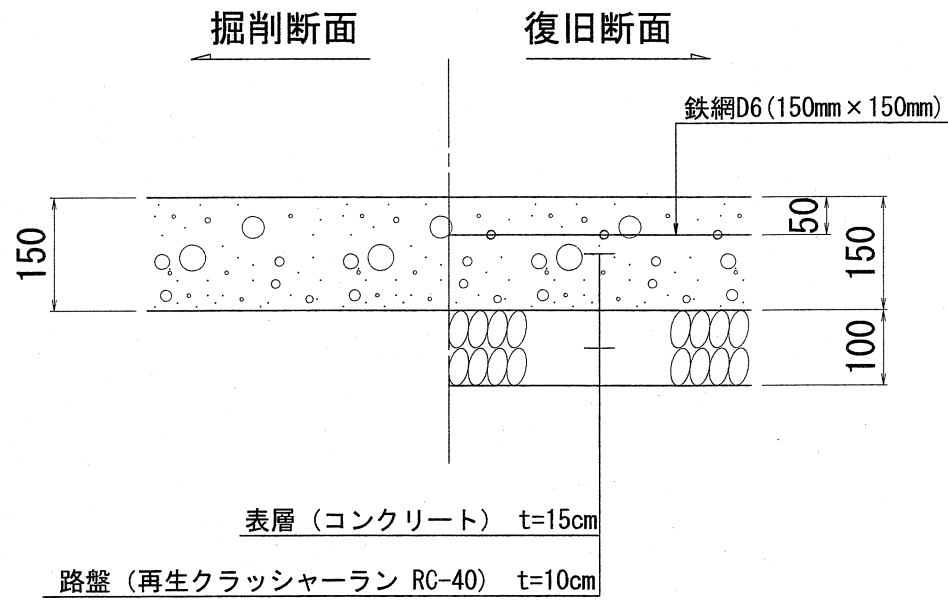
注 (イ) 組立マンホールは、製造者の標準仕様とするが、材料・品質・試験は、JISに準ずるものとする。
(ロ) 蓋は、車道部幹線T-14、支線T-8を標準とする。



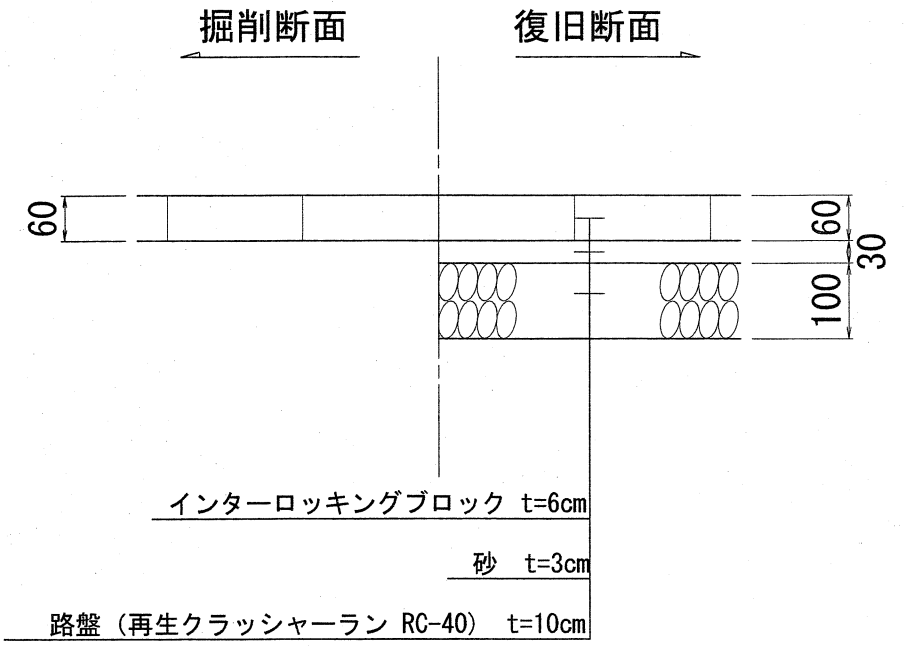
アスファルト舗装



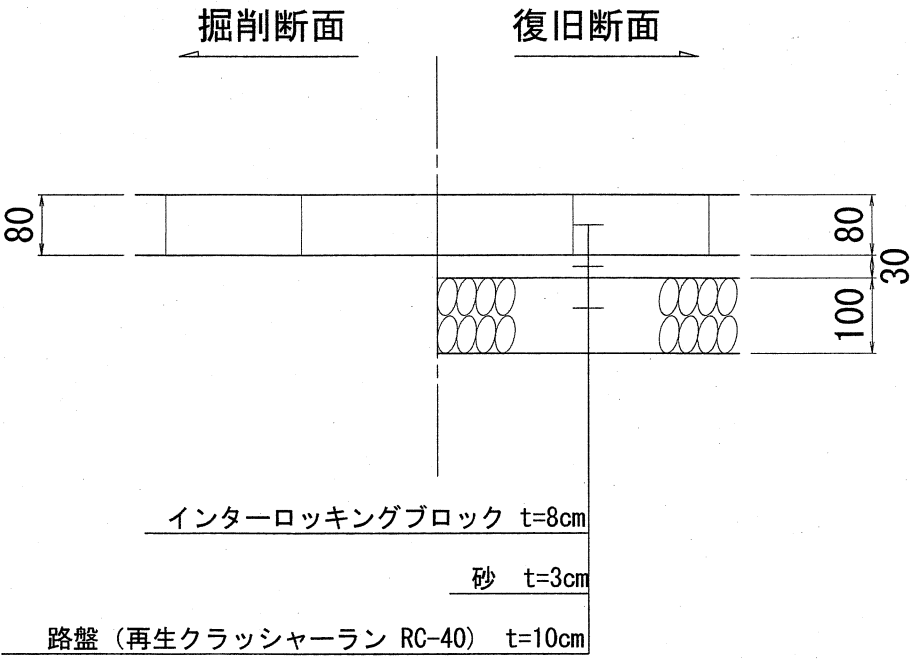
コンクリート舗装



ILB舗装(歩道)



ILB舗装(車道)



舗装構成 S:1/10

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（機械設備等）工事	参考図	S=1/10 1/30(A1) S=1/20 1/60(A3)	株式会社 ミューバート 名古屋市中村区新尾張3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当 鈴鹿工業高等専門学校	M-20